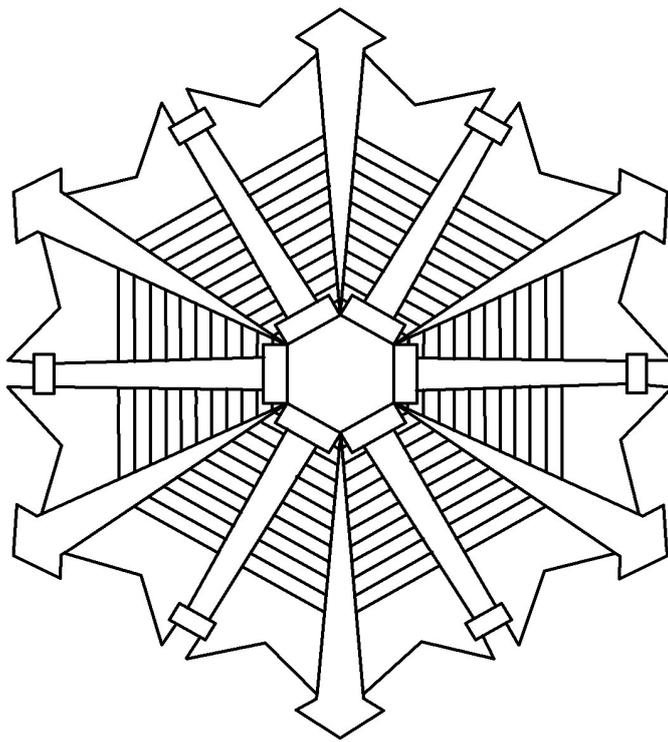


消 防 年 報

平成 23 年版



葉山町消防本部

町章



町の花

つつじ



町の木

くろまつ



町の鳥

うぐいす



ま え が き

この年報は、平成 22 年中（一部平成 22 年度等）における葉山町の消防現勢や実態を収録し、今後の消防行政の参考に資すると共に、消防に対する関心と認識を深めていただくことを目的として編集したものです。
なお、気象統計は消防署の観測によるものです。

平成 23 年 8 月

葉山町消防本部

目 次

葉山消防のあゆみ	1～15
町勢	
位置	16
面積・人口・世帯数	17
地区別情勢	17
人口の推移	18
消防情勢	
消防本部・署・団設置	19
消防本部・署機構図	19
消防本部事務分掌	20～21
消防署事務分掌	22～23
消防本部・署・団情勢調	24
消防本部・署・団・車両一覧表	24
消防機器配置図	25
庶務関係	
消防予算額	26
町予算と消防予算との比較	26
消防費と人口・世帯との比	26
消防職員定員・実員	27
消防職員年齢	27
消防職員勤続年数	27
教育実施状況	28
特殊技能資格者	29
警防関係	
火災概況	30

火災別比較	30
出火原因別火災発生状況	31
火災発生状況	32
覚知・時間別火災発生状況	33
地区別火災発生状況	34
時間別火災発生状況	35
消防署の消防車両等の出場状況	36
消防本部・署現有車両機械	37
救助資器材	38
消防・その他資器材	39
救急資器材	39
消防水利現勢	40

指令関係

消防本部・署・団の通信施設	41
消防通信システム系統図	42
消防本部・署通信機器一覧表	43～44
防災無線等系統図	45
防災通信機器等一覧表	46～47
消防団通信機器等一覧表	48
119 番着信件数(固定・IP 電話含む)	49
携帯電話 119 番着信件数	49
テレホンサービス着信回数	49

気象関係

月別気象調	50
風向頻度調 (%)	51

予防関係

防火対象物・防火管理者選任状況	52
中高層防火対象物状況 (3 階建て以上)	53
予防関係届出状況	54

危険物関係届出状況	55
火災予防査察実施状況	56
危険物施設状況	57
地区別危険物施設状況	58
危険物貯蔵取扱最大数量状況	58
月別危険物施設許認可状況	59
危険物施設許認可処理状況	59
用途別消防同意・確認通知状況	60
月別消防同意・確認通知・計画通知状況	61
地区別消防同意・確認通知・計画通知状況	62
過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況	62

救急関係

救急概況	63
町内外在住別搬送人員状況	63
傷病程度別搬送人員状況	63
発生日別状況	63
救急出場・搬送人員状況	64
月別救急出場・搬送人員状況	65
過去5年間の救急出場・搬送人員状況	66
町内外在住別救急搬送人員状況	67
時間別救急出場状況	67
曜日別救急出場状況	68
覚知別救急出場状況	68
地区別救急出場状況	68
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況	69
救急隊員の行った応急処置	70
収容状況	71
医療機関紹介状況	71
応急手当普及啓発活動実施状況	71
応援救急出場件数	72
受援救急件数	72

救助關係

救助概況	73
救助出場人員・活動人員狀況	73
発生場所別救助人員狀況	73
救助出場車両・活動車両狀況	74
発生場所別救助出場（活動）狀況	74
時間別救助出場（活動）狀況	75
地区別救助出場狀況	75

防災關係

防災行政無線	76
防災資機材備蓄一覽	77
飲料水兼用型耐震性貯水槽	78
防災訓練・防災講演会実施狀況	78

消防団關係

消防団組織図	79
消防団員定員・実員	79
消防団員報酬	79
消防団員出動費用弁償	79
消防団詰所所在地	80
消防団員配置	80
消防団員年齢	81
消防団員職業	81
消防団員勤続年数	82
消防団出場狀況	82
消防団現有車両機械	83
消防団備品配置	84

葉山消防のあゆみ

昭和 22 年 (1947)	<p>消防団令が公布される。 「葉山町警防団」は「葉山町消防団」に改称される。 初代消防団長 佐川正雄 就任 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、副班長 35 名、団員 237 名、計 323 名 消防ポンプ自動車 1 台 三輪消防ポンプ自動車 1 台 腕用ポンプ 8 台</p>
昭和 23 年 (1948)	<p>御用邸より手びきガソリンポンプ 1 台を借用し、下山口に配置する。 消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、団員 342 名、計 393 名</p>
昭和 25 年 (1950)	<p>小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 3 台を購入し、木古庭、上山口、長柄に配置する。</p>
昭和 26 年 (1951)	<p>第 2 代消防団長 矢嶋儀助 就任 腕用ポンプ 2 台を廃棄する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、下山口に配置する。</p>
昭和 27 年 (1952)	<p>御用邸より借用していた手びきガソリンポンプを返納する。 三輪消防ポンプ自動車（52 年型ニッサン R2B）2 台を購入し、下山口、一色に配置する。 上山口の消防器具置場を移転改修する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を上山口分教場に配置替えする。 一色に配置の 36 年式フォード三輪消防ポンプ自動車を長柄に配置替えする。</p>
昭和 29 年 (1954)	<p>小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の 37 年式ダッチ消防ポンプ自動車の修理改造を行う。</p>

昭和 30 年 (1955)	第 3 代消防団長 伊原 若 就任
昭和 31 年 (1956)	<p>木古庭の消防器具置場を増築する。 木古庭と長柄にサイレンを設置する。 38 年式フォード消防ポンプ自動車 1 台を購入し、木古庭に配置する。</p>
昭和 32 年 (1957)	腕用ポンプ 5 台を廃棄する。
昭和 33 年 (1958)	<p>小型動力ポンプ（トーハツ VF-3）B-3 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VD-50、トーハツ VF-48）2 台を廃棄する。 消防ポンプ自動車（トヨタ FC70 型）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の 37 年式ダッチ消防ポンプ自動車を一色に配置替える。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車（52 年型ニッサン R2B）を長柄に配置替える。 長柄に配置の 36 年式フォード三輪消防ポンプ自動車を廃車する。</p>
昭和 34 年 (1959)	<p>小型動力ポンプ積載用として、三輪車（マツダ 56CLY81 型）1 台を購入し、上山口に配置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、一色に配置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VE-3）C-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 長柄に詰所を新築する。（木造平屋建、34.65 ㎡）</p>
昭和 35 年 (1960)	<p>消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 26 名、団員 156 名、計 198 名 消防ポンプ自動車 3 台 三輪消防ポンプ自動車 2 台 小型動力ポンプ 7 台 三輪積載車 1 台</p>

<p>昭和 36 年 (1961)</p>	<p>下山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 52.69 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。</p>
<p>昭和 37 年 (1962)</p>	<p>一色に配置の 37 年式ダッチ消防ポンプ自動車を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-S) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、長柄に配置する。 木古庭と長柄に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50) を廃棄する。</p>
<p>昭和 38 年 (1963)</p>	<p>第 4 代消防団長 森谷米吉 就任 小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 下山口にサイレンを設置する。 木古庭に配置の 38 年式フォード消防ポンプ自動車を廃車する。</p>
<p>昭和 39 年 (1964)</p>	<p>葉山町役場に火災報知専用電話 (119 番) を設置する。 上山口に配置の三輪積載車 (マツダ 56CLY81 型) を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-M) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 一色に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 87.81 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年型ニッサン R2B 型) を廃車する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-50) を廃棄する。</p>
<p>昭和 40 年 (1965)</p>	<p>第 5 代消防団長 萩原宏之助 就任 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年型ニッサン R2B 型) を廃車する。</p>
<p>昭和 41 年 (1966)</p>	<p>上山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 91.92 m²) 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 堀内に詰所を新築する。(鉄筋コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 107.52 m²)</p>

<p>昭和 42 年 (1967)</p>	<p>木古庭に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 81.98 m²) 長柄の詰所を増築する。(木造平屋建、68.57 m²) 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 消防職員 実員 1 名</p>
<p>昭和 43 年 (1968)</p>	<p>葉山町消防本部発足。(3 月 29 日、葉山町一色 2155 番地) 初代消防長 細谷辰三郎 就任 神奈川県衛生部より救急自動車 (トヨタダイナ 43RK-171V 改) 1 台を消防本部に貸与され、救急業務を開始する。 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40E) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (トヨタ FC70 型) を廃車する。 消防職員 実員 12 名</p>
<p>昭和 44 年 (1969)</p>	<p>小型動力ポンプ (ラビット P403-M) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、一色に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VF-48) を廃棄する。 消防本部に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) と、一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P403-M) を配置替えする。 防火水槽 (40 m³ 下山口、長柄) 2 基を設置する。 消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ-55) A-2 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防職員 実員 15 名</p>
<p>昭和 45 年 (1970)</p>	<p>指令車 (ニッサンプリンスグロリア HA-30) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防無線を設置する。 基地局 1 基 10W、移動局 3 基 10W、携帯 2 基 1W 葉山町消防庁舎落成 (4 月 1 日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート 3 階建、延べ面積 521.972 m²) 防火水槽 (40 m³ 木古庭、堀内) 2 基を設置する。 消防ポンプ自動車 1 台 救急自動車 1 台 指令車 1 台 小型動力ポンプ 1 台 消防職員 実員 19 名</p>

<p>昭和 46 年 (1971)</p>	<p>葉山御用邸焼失 (1 月 27 日) 水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ TXG10) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 2 基 10W 広報車 (トヨタマーク II RT77) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 防火水槽 (40 m³ 上山口) 1 基を設置する。</p>
<p>昭和 47 年 (1972)</p>	<p>救急自動車 (トヨタ RH18V) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 防火水槽 (40 m³ 一色) 1 基を設置する。 消防職員 実員 22 名</p>
<p>昭和 48 年 (1973)</p>	<p>防火水槽 (40 m³ 上山口) 1 基を設置する。 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-3) を廃棄する。</p>
<p>昭和 49 年 (1974)</p>	<p>消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) を廃車する。 消防職員 実員 27 名</p>
<p>昭和 50 年 (1975)</p>	<p>小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) A-2 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) を廃車する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306、ラビット P402-S) を廃棄する。 消防無線機増設。携帯 2 基 1W 消防職員 実員 28 名</p>
<p>昭和 51 年 (1976)</p>	<p>日本船舶振興会より小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF-20 改) 1 台と小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級 1 台の寄贈を受け、一色に配置する。</p>

<p>昭和 52 年 (1977)</p>	<p>第 6 代消防団長 永津義次 就任 堀内の詰所を小型動力ポンプ積載車配置のため改築する。 小型動力ポンプ積載車 (スズキキャリーH-L50 改) 2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を堀内に配置替える。 堀内に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 日本消防協会より広報車 (三菱ギャランH-A112V 改) 1 台の寄贈を受け、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車 (トヨタマーク II RT77) を廃車する。 指令車 (トヨタマーク II E-MX40) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車 (ニッサンプリンスグロリア HA-30) を廃車する。 積載車 (ダイハツ S60PD) 1 台を購入し、消防署に配置する。 固定局を設置する。1 基 10W 無線式サイレン吹鳴装置を設置する。 消防職員 実員 33 名</p>
<p>昭和 53 年 (1978)</p>	<p>消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) を廃車する。 消防無線機増設。携帯 1 基 1W 救急自動車 (トヨタ RH42VB-J) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタダイナ RK-171V) を廃車する。 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 消防職員 実員 34 名</p>
<p>昭和 54 年 (1979)</p>	<p>消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 80 基を堀内、一色に設置する。</p>
<p>昭和 55 年 (1980)</p>	<p>第 2 代消防長 尾崎 昇 就任 消防ポンプ自動車 (ニッサン FH61BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ-55) を廃車する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 70 基を堀内、一色、下山口に設置する。</p>

<p>昭和 56 年 (1981)</p>	<p>防火水槽 (40 m³ 上山口、下山口、堀内) 3 基を設置する。</p> <p>水槽付消防ポンプ自動車 (ニッサンディーゼル K-CM85C 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ TXG10) を廃車する。</p> <p>防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 80 基を堀内に設置する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。</p>
<p>昭和 57 年 (1982)</p>	<p>消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ60V 改 BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 83 基を一色、堀内、長柄に設置する。 消防無線機増設。基地局 1 基 10W 予備機、携帯 1 基 5W</p>
<p>昭和 58 年 (1983)</p>	<p>救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ RH18V) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 広報車 (ニッサンブルーバード L-VJ910 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防本部に配置の広報車 (三菱ギャラン H-A112V 改) を廃車する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 81 基を一色、堀内に設置する。</p>
<p>昭和 59 年 (1984)</p>	<p>街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 208 基を木古庭、上山口、下山口、一色、堀内、長柄に設置する。</p>

昭和 60 年 (1985)	<p>第 3 代消防長 小峰和夫 就任 第 4 代消防長 鈴木寶三郎 就任 軽トラック (ダイハツ M-S664WD) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 指令車 (ニッサンブルーバード E-U11 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の司令車 (トヨタマーク II E-MX40) を廃車する。 積載車 (三菱 M-U11V 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車 (ダイハツ S60PD) を廃車する。</p>
昭和 61 年 (1986)	<p>第 7 代消防団長 石川清治 就任 救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ RH42VB-J) を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 長柄に詰所を新築する。(鉄骨平屋建、93.61 m²)</p>
昭和 62 年 (1987)	<p>小型動力ポンプ (富士ロビン P303BS) C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 消防救急指令装置 (富士通ゼネラル HA-305)、無線統制台 (富士通ゼネラル RC-6033) を導入し、運用開始する。 葉山町防災行政無線遠隔制御装置を設置する。 消防職員 実員 38 名</p>
昭和 63 年 (1988)	<p>第 8 代消防団長 矢島正治 就任 小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FGY60 改 BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) を廃車する。</p>
平成元年 (1989)	<p>広報車 (スバルレガシィ E-BF3 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車 (ニッサンブルーバード L-VJ910 改) を廃車する。 小型動力ポンプ (トヨタ T66B4) C-1 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級を廃</p>

<p>平成 2 年 (1990)</p>	<p>棄する。 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S80P 改）1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車（ニッサン HF-20 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-I 型）A-2 級を廃車する。 防火水槽改修を行う。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W</p> <p>消防団車両 9 台に消防無線受令機を設置する。 救急自動車（トヨタ U-LH129S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 1 基 5W 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-I 型）を廃車する。 消防ポンプ自動車（三菱 U-FG337C 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FH61BD-I 型）を廃車する。 木古庭の詰所を移転新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 177.493 m²） 消防職員 実員 40 名</p>
<p>平成 3 年 (1991)</p>	<p>第 5 代消防長 大竹二郎 就任 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S83P 改）1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ U-FRR32DBV 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル K-CM85C 改）を廃車する。</p>

<p>平成 4 年 (1992)</p>	<p>機構改革により消防本部に防災係を設置する。 防災車 (トヨタ L-KE72V) 1 台を消防本部に配置する。 消防職員 実員 43 名</p>
<p>平成 5 年 (1993)</p>	<p>第 10 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 18 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 積載車 (三菱 V-U42V 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車 (三菱 M-U11V 改) を廃車する。 「甲部隊」「乙部隊」を「第 1 警備隊」「第 2 警備隊」に改称する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FGY60 改) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) を廃車する。 本団、各分団に消防無線を設置する。携帯 15 基 (5W×3 基、1W×12 基)</p>
<p>平成 6 年 (1994)</p>	<p>防災車 (トヨタ U-LH119V 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の防災車 (トヨタ L-KE72V) を廃車する。 葉山町防災行政無線増設。携帯 2 基 5W 第 11 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 19 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 消防無線更新。携帯 3 基 5W 高規格救急自動車 (トヨタ Z-UZH132S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60) 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60) を廃車する。 消防職員 実員 46 名</p>
<p>平成 7 年 (1995)</p>	<p>第 6 代消防長 高木太郎 就任 消防庁舎新築工事着工 第 12 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 20 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) 1 台を購入し、堀内</p>

<p>平成 8 年 (1996)</p>	<p>に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FJ60V 改)を廃車する。 教材用として葉山小学校へ寄贈する。 消防職員 実員 47 名</p> <p>新葉山町消防庁舎落成(11月24日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上 3 階地下 1 階、救助訓練施設併設、延べ面積 2,558.77 m²) 消防緊急通信指令装置 I 型(富士通ゼネラル H-315)を整備し、運用を開始する。 無線式サイレン吹鳴装置を更新整備する。 防火水槽(40 m³ 堀内)1 基を設置する。 旧消防庁舎を解体する。 小型動力ポンプ(ラビット P380LM) C-1 級 2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ(トーハツ V15A) C-1 級を廃棄する。 堀内に配置の小型動力ポンプ(トーハツ V15AS) C-1 級を廃棄する。 小型動力ポンプ(ラビット P475S-DX・V) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ(トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。 軽トラック(スバル V-KS4 改)1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の軽トラック(ダイハツ M-S664WD)を廃車する。 第 13 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 21 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出)</p>
<p>平成 9 年 (1997)</p>	<p>日本損害保険協会より救助工作車(ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改)1 台の寄贈を受け、消防署に配置する。 広報車(三菱 E-CD5W 改)1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車(ニッサンブルーバード E-U11 改)を廃車する。 消防本部に配置の広報車(スバルレガシー E-BF3 改)を廃車する。 第 14 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 22 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。</p>

<p>平成 10 年 (1998)</p>	<p>(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 2 基 5W 消防無線全国波を導入する。 下山口の詰所を移転新築する。(鉄骨 1 階建、85.05 m²) 下山口に防火水槽 (40 m³) 1 基、一色に防火水槽 (20 m³) 1 基を設置する。</p> <p>第 7 代消防長 本田恒雄 就任 葉山町女性防火防災クラブ発足 78 名 第 15 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 23 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) を廃車する。 小型動力ポンプ (富士ロビン P380) C-1 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。 防火水槽 (40 m³: 下山口、一色 20 m³: 一色 2 基、堀内、長柄) 6 基を設置する。 葉山町行政改革大綱に基づき、課制を導入。 消防本部 1 課 (消防総務課)、消防署 2 課 (警備第 1 課、警備第 2 課) に改める。 小型動力ポンプ (ラビット P265M 型) D-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。</p>
<p>平成 11 年 (1999)</p>	<p>下山口に配置の小型動力ポンプ (富士ロビン P303BS) C-1 級を廃棄する。 第 16 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 24 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 上山口の詰所を新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²)</p>
<p>平成 12 年 (2000)</p>	<p>第 17 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ渡過) 第 25 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 高規格救急自動車 (トヨタ GE-VCH32S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ U-LH129S) を廃車する。</p>

<p>平成 13 年 (2001)</p>	<p>第 8 代消防長 行谷正道 就任 一色の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²) 第 18 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 26 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 消防ポンプ自動車(日野 KK-XZU371M 改)A-2 級 1 台を購入し、 消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車(三菱 U-FG337C 改)を廃車 する。 湘南国際村内消火栓 8 基(上山口 5 基、下山口 3 基)葉山町に 帰属。</p>
<p>平成 14 年 (2002)</p>	<p>第 9 代消防団長 伊東正悦 就任 第 19 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 27 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 消防職員 実員 46 名</p>
<p>平成 15 年 (2003)</p>	<p>第 10 代消防団長 石井建一 就任 堀内の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 113.96 m²) 第 20 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 28 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改)A-2 級 1 台を購入し、 消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ U-FRR32DBV 改)を廃車する。 消防ポンプ自動車(三菱 KK-FE73ECY)A-2 級 1 台を購入し、 一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FGY60 改 BD-I 型) を廃車する。 防災資機材搬送車(ニッサン LC-VPE25)1 台を購入し、消防 本部に配置する。 消防本部に配置の防災車(トヨタ U-LH119V 改)を廃車する。</p>
<p>平成 16 年 (2004)</p>	<p>第 9 代消防長 石屋 博 就任 葉山町消防団 OB 会発足 第 21 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 29 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。</p>

	<p>(出場種目 はしご登はん、基本泳法) 高規格救急自動車(ニッサン TC-FPGE50 改)1 台購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の高規格救急自動車(トヨタ Z-UZH132S)をパラオ共和国に贈与する。 消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改)A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車(いすゞ U-FRR32DBV 改)を廃車する。 2 交替勤務から 3 交替勤務に移行する。 消防職員 実員 47 名</p>
平成 17 年 (2005)	<p>第 22 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 30 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 消防ポンプ自動車(日野 PD-XZU304E 改)A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン T-FGY60 改)を廃車する。</p>
平成 18 年 (2006)	<p>第 23 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 31 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん第 2 位入賞)</p>
平成 19 年 (2007)	<p>第 10 代消防長 坂本光俊 就任 積載車(ニッサン GBD-U72TP)1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車(三菱 V-U42V 改)を廃車する。 第 24 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 32 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) (出場種目 基本泳法 第 36 回消防救助技術関東地区指導会選出)</p>
平成 20 年 (2008)	<p>第 25 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 33 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 第 37 回消防救助技術関東地区指導会に出場する。</p>

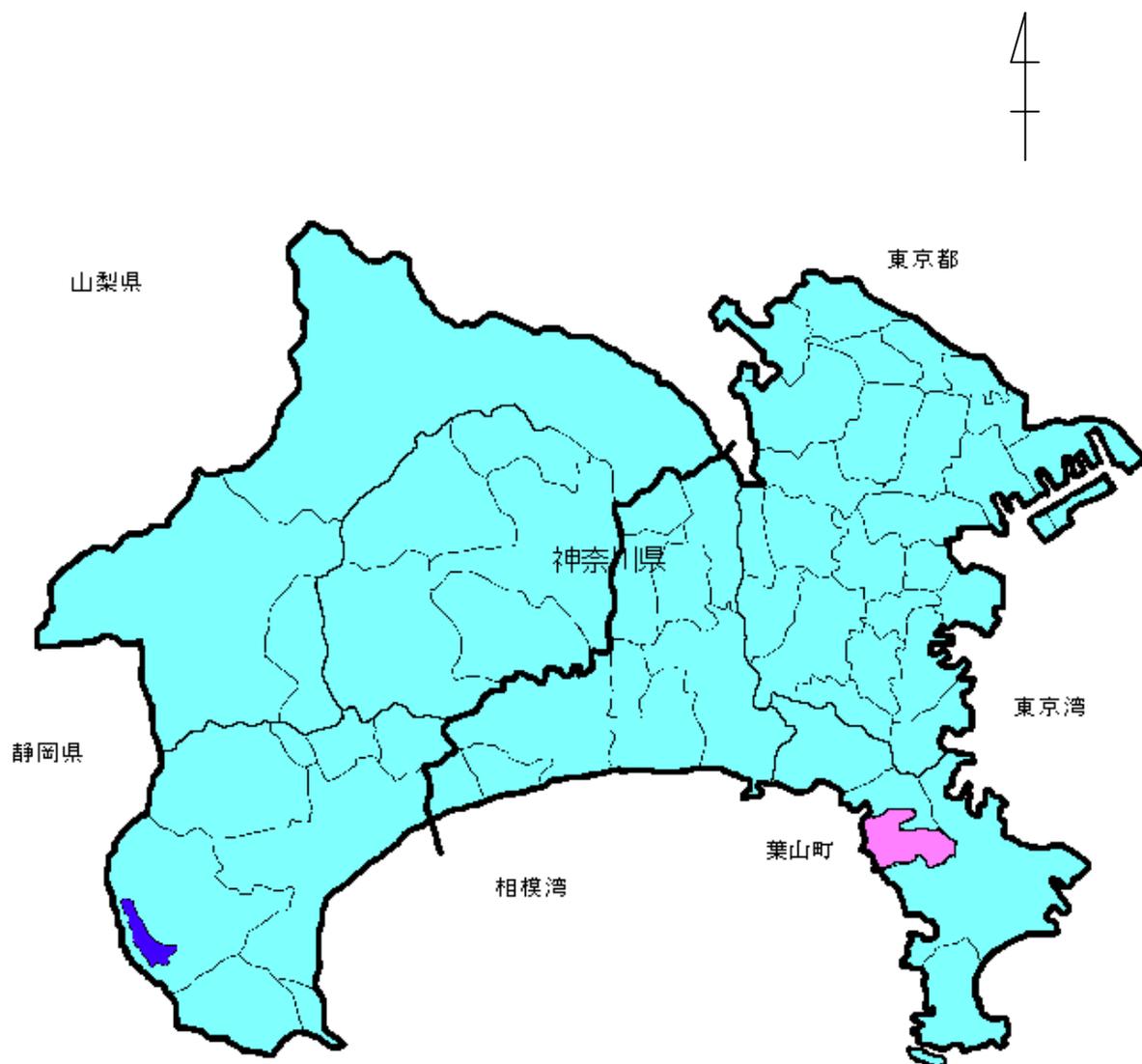
<p>平成 21 年 (2009)</p>	<p>(出場種目 基本泳法) 消防ポンプ自動車 (日野 BDG-XZU304E) A-2 級 1 台を購入し、 下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) を 廃車する。 小型動力ポンプ積載車 (スバル EBD-TT2) 1 台を購入し、一色 に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S80P 改) を 廃車する。 下山口に防火水槽 (40 m³) を設置する。</p> <p>第 11 代消防長 有馬 弘 就任 第 11 代消防団長 石井定裕 就任 第 26 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 34 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル HA-3000D) を整 備し、運用を開始する。 高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防 署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車 (トヨタ GE-VCH32S) を廃車 する。 消防ポンプ自動車 (日野 BDG-XZU304E) A2 級 1 台を購入し、 長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) を廃 車する。</p>
<p>平成 22 年 (2010)</p>	<p>第 27 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 35 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 消防無線更新。携帯 2 基 5W 水難救助艇 (アキレス SG-140) 1 台を購入し、消防署に配置 する。 日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ EBD- S331W) 1 台の寄贈を受け、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) を 廃車する。</p>

町

勢

位 置

葉山町は、三浦半島の西北部に位置し、西は相模湾に面し、北は逗子市、東と南は横須賀市に接しており、首都東京から 50 k m 圏にある。



葉山町役場の所在地	神奈川県三浦郡葉山町堀内 2135 番地
位 置	北緯 35° 16′ 08″ 東経 139° 35′ 24″
町 制 施 行	大正 14 年 1 月 1 日

面積・人口・世帯数

平成23. 4. 1現在

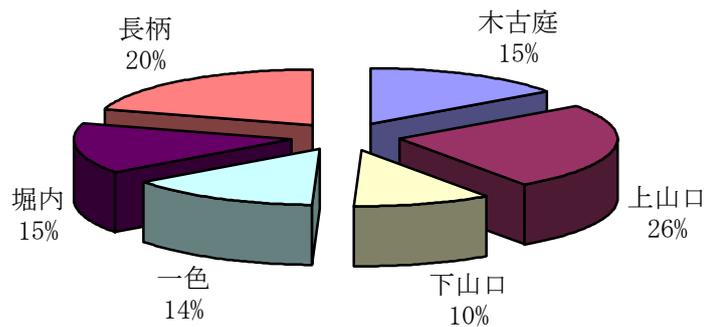
面積	人口			世帯数
17.06 k m ²	33,704人	男	15,960人	14,086世帯
		女	17,744人	

地区別情勢

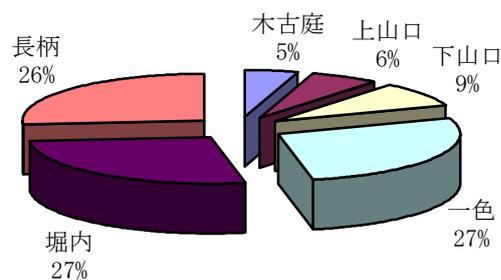
平成23. 4. 1現在

区分 地区	面積 (k m ²)	人口			世帯数 (世帯)	1 k m ² あたり	
		男 (人)	女 (人)	合計 (人)		世帯数 (世帯)	人口 (人)
木古庭	2.58	782	825	1,607	673	261	623
上山口	4.27	969	1,069	2,038	860	201	477
下山口	1.79	1,387	1,479	2,866	1,186	663	1,601
一色	2.45	4,375	4,920	9,295	3,842	1,568	3,794
堀内	2.49	4,256	4,774	9,030	3,814	1,532	3,627
長柄	3.48	4,191	4,677	8,868	3,711	1,066	2,548
合計	17.06	15,960	17,744	33,704	14,086	826	1,976

面積



人口

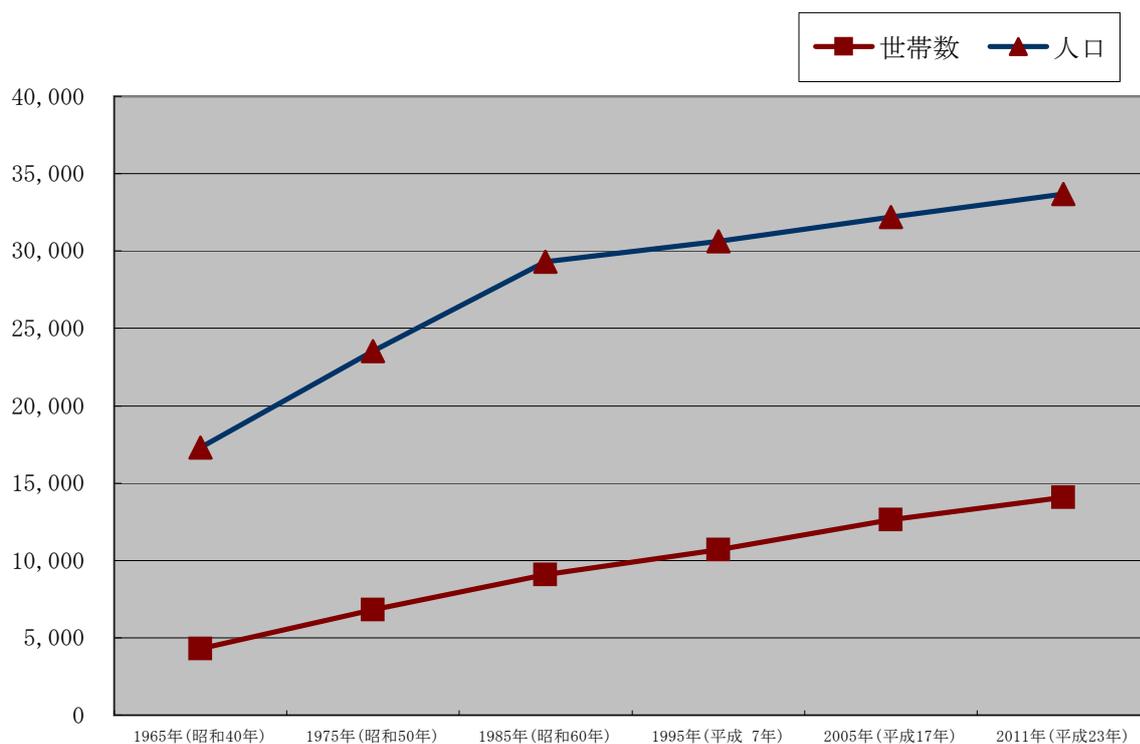


人口の推移

平成23. 4. 1現在

区分 年	世帯数 (世帯)	人口			1 k m ² あたり	
		男 (人)	女 (人)	合計 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)
1965年(昭和40年)	4,293	8,279	9,033	17,312	249	1,005
1975年(昭和50年)	6,821	11,413	12,107	23,520	400	1,378
1985年(昭和60年)	9,066	14,199	15,125	29,324	541	1,737
1995年(平成7年)	10,688	14,688	15,947	30,635	632	1,797
2005年(平成17年)	12,647	15,359	16,854	32,213	741	1,888
2011年(平成23年)	14,086	15,960	17,744	33,704	826	1,976

世帯数・人口



消 防 情 勢

消防本部・署・団設置

消防本部設置 昭和 43 年 3 月 29 日

消防署設置 昭和 45 年 4 月 1 日

消防団設置 昭和 22 年 7 月 19 日

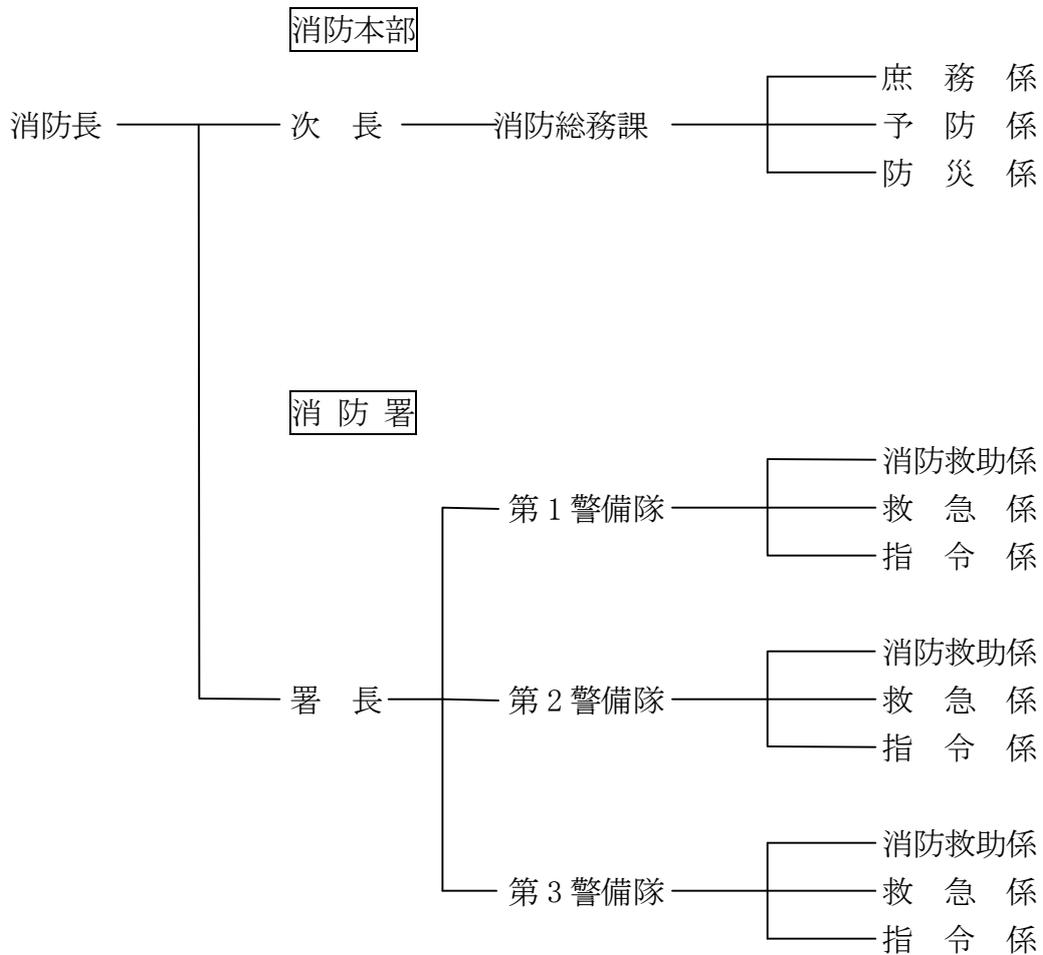
消防本部・署の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 10

位置 北緯 35° 16′ 05″ 東経 139° 35′ 17″

消防団本部の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 10

位置 北緯 35° 16′ 05″ 東経 139° 35′ 17″

消防本部・署機構図



消防本部事務分掌

消防総務課

庶務係

- (1) 消防事務の企画、調査、調整及び庶務に関すること。
- (2) 消防組織に関すること。
- (3) 条例及び規則の原案の調整並びに規程の制定又は改廃に関すること。
- (4) 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 職員の研修及び福利厚生に関すること。
- (7) 公印の管理に関すること。
- (8) 消防長の儀礼交際に関すること。
- (9) ほう賞及び表彰に関すること。
- (10) 公務災害補償等に関すること。
- (11) 消防出初式に関すること。
- (12) 消防の総括統計に関すること。
- (13) 消防団員の任免、服務、身分等に関すること。
- (14) 消防団本部の庶務に関すること。
- (15) 消防団員の訓練の企画及び調整に関すること。
- (16) 消防予算の執行管理の総括に関すること。
- (17) 消防施設の整備及び管理に関すること。
- (18) 被服等の貸与並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (19) 消防署との連絡調整に関すること。

予防係

- (1) 火災予防思想の普及及び調整に関すること。
- (2) 火災予防等の規定及び調整に関すること。
- (3) 建築確認及び許認可に係る同意に関すること。
- (4) 防火管理者講習に係る総合調整に関すること。
- (5) 防火対象物及び消防用設備の指導に係る調整に関すること。
- (6) 火災予防協力組織及び団体の育成指導に関すること。
- (7) 消防対象物の立入検査等の総括に関すること。
- (8) 葉山町火災予防条例（昭和 37 年葉山町条例第 8 号）に基づく届出及び指導（消防署で扱うものを除く。）に関すること。
- (9) 危険物の取締指導及び規制に関すること。
- (10) 液化石油ガス等に関すること。
- (11) 危険物取扱者に関すること。
- (12) 危険物手数料の収納に関すること。
- (13) 火災予防の統括に関すること。
- (14) 開発行為等の指導に関すること。

防 災 係

- (1) 防災行政用無線に関する事。
- (2) 災害応急用機器、資材等の備蓄及び整備に関する事。
- (3) 防災思想の普及及び啓発に関する事。
- (4) 自主防災組織の育成及び助成に関する事。
- (5) 災害対策に関する事。
- (6) 災害の調査及び情報の収集に関する事。
- (7) 防災計画に関する事。
- (8) 水防計画に関する事。
- (9) 防災会議に関する事。
- (10) 避難場所に関する事。
- (11) 防災訓練に関する事。
- (12) 国民保護計画に関する事。

消防署事務分掌

消防救助係

- (1) 署内事務事業の調整及び統計に関すること。
- (2) 火災証明に関すること。
- (3) 署施設、消防資機材の維持管理に関すること。
- (4) 消防車両の安全管理に関すること。
- (5) 消防車両、装備等の維持管理に関すること。
- (6) 災害の警防救助活動に関すること。
- (7) 火災の原因及び損害の調査並びに統計に関すること。
- (8) 災害現場の調査及び情報の収集に関すること。
- (9) 消防対象物の警防計画に関すること。
- (10) 各種催事に係る警備に関すること。
- (11) 火災予防立入検査に関すること。
- (12) 屋外の火災予防の調査及び指導に関すること。
- (13) 葉山町火災予防条例（昭和 37 年葉山町条例第 8 号）第 45 条及び第 45 条の 2 に規定する届出及び指導に関すること。
- (14) 消防団員、事業所等の消防訓練指導等に関すること。
- (15) 消防及び救助訓練の企画、調整及び運用に関すること。
- (16) 消防地理及び消防水利の調査に関すること。
- (17) 消火栓の設置及び管理に係る調整に関すること。
- (18) 消防力整備計画に関すること。
- (19) 消防相互応援協定等に関すること。
- (20) 火災警報等に関すること。
- (21) 消防警防計画に関すること。
- (22) 消防水利施設の整備及び管理に関すること。
- (23) 消防訓練施設の整備及び管理に関すること。
- (24) 消防車両及び資機材の配置及び整備に関すること。
- (25) 消防車両の通行制限等の許認可申請に関すること。
- (26) 開発行為等の指導に関すること。

救急係

- (1) 救急業務の企画及び整備に関すること。
- (2) 応急手当の普及等に関すること。
- (3) 救急資機材の整備に関すること。
- (4) 搬送証明に関すること。
- (5) 救急統計に関すること。

指令係

- (1) 消防に係る気象観測に関する事。
- (2) 災害通報の受信及び指令に関する事。
- (3) 災害の通報及び関係機関との連絡調整に関する事。
- (4) 警防支援情報の収集、管理及び保護に関する事。
- (5) 消防通信施設の保守管理に関する事。
- (6) 消防通信の技術指導及び訓練に関する事。

消防本部・署・団情勢調

人口 33,704 人

世帯数 14,086 世帯

面積 17.06 Km²

平成23.4.1現在

種別 区分	消 防 本 部 ・ 署						消 防 団					
	消 防 吏 員			消 防 ポンプ自動車			消 防 団 員			消 防 ポンプ自動車		
現 況	46人			2台			181人			6台		
細 別	消防吏員1人あたり			消防車1台あたり			消防団員1人あたり			消防車1台あたり		
区 分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)									
平 均 値	0.4	733	306	8.5	16,852	7,043	0.1	186	78	2.8	5,617	2,348

消防本部・署・団・車両一覧表

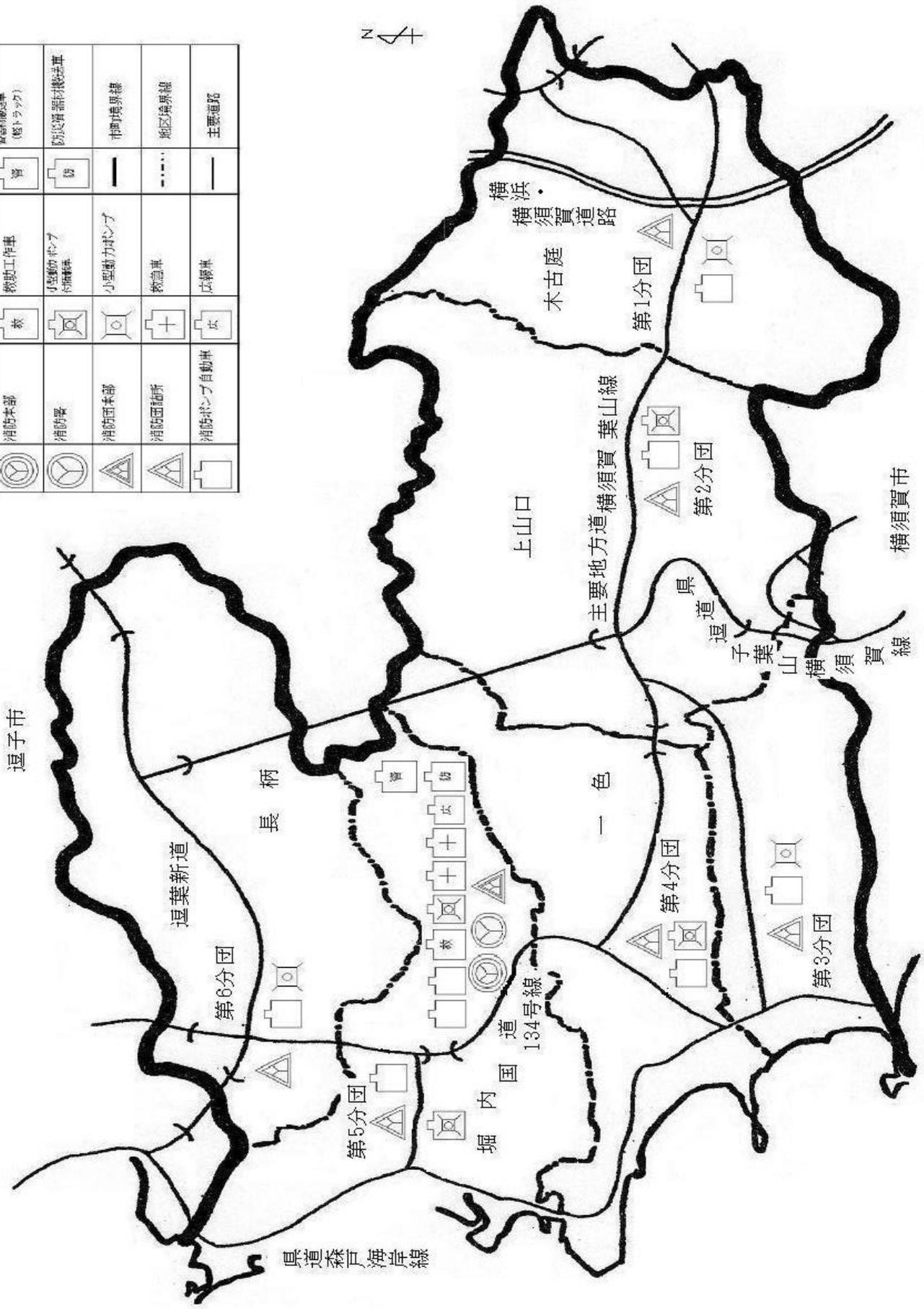
平成23.4.1現在

種別 車両	消 防 本 部 ・ 署	消 防 団	合 計
消 防 ポンプ自動車	2台	6台	8台
救 助 工 作 車	1台		1台
積 載 車	1台	3台	4台
小 型 動 力 ポンプ	1台	6台	7台
高 規 格 救 急 自 動 車	2台		2台
広 報 車	1台		1台
防 災 資 機 材 搬 送 車	1台		1台
軽 ト ラ ッ ク	1台		1台
二 輪 車	4台		4台

消防機器配置図

図式記号

	消防本部		救助工作車		高圧消防車 (巻トラック)
	消防署		小型動力ポンプ 付消防車		防炎消器搭載消防車
	消防団本部		小型動力ポンプ	—	市町村境界線
	消防団詰所		救急車	---	地区境界線
	消防ポンプ自動車		広報車	—	主要道路



庶務關係

消防予算額

平成23年度

款	項	目	金額 (千円)	比率 (%)
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	503,509	94.1%
		非 常 備 消 防 費	31,063	5.8%
		消 防 施 設 費	520	0.1%
		合 計	535,092	100%

町予算と消防予算との比較

(単位：千円)

区 分	年 度	平 成 23 年 度	平 成 22 年 度	平 成 21 年 度
	町 総 予 算 額	8,998,900	9,090,500	8,784,324
消 防 予 算 額	535,092	573,122	592,262	
比 率 (%)	5.9	6.3	6.7	

消防費と人口・世帯との比

人 口 33,704人

世帯数 14,086世帯

平成23年度

予 算 額 (千円)	1世帯あたり(円)	人口1人あたり(円)
消 防 費 予 算	535,092	37,988
常 備 消 防 費	503,509	35,745
非 常 備 消 防 費	31,063	2,205
消 防 施 設 費	520	37
町 総 予 算	8,998,900	638,854

消防職員定員・実員

平成23. 4. 1現在

区分	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
		定員							
実員		1	10	15	2	10	8	1	47
再任用者									0

消防職員年齢

平成23. 4. 1現在

年齢	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
		18 ~ 20						1	
21 ~ 25						6	7		13
26 ~ 30						4			4
31 ~ 35									0
36 ~ 40				5	2				7
41 ~ 45				8					8
46 ~ 50			3					1	4
51 ~ 55			2						2
56 ~ 60		1	5	2					8
60歳以上									0
合計		1	10	15	2	10	8	1	47
平均年齢		58.0	53.8	43.5	38.0	26.4	22.3	46.0	

消防職員勤続年数

平成23. 4. 1現在

年齢	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
		1年未満						1	
1年以上5年未満						5	7		12
5年以上10年未満						3			3
10年以上15年未満						2			2
15年以上20年未満				5	2				7
20年以上25年未満			1	8				1	10
25年以上30年未満			1						1
30年以上35年未満			5	1					6
35年以上40年未満		1	3	1					5
40年以上									0
合計		1	10	15	2	10	8	1	47

教育実施状況

平成22年度

教 育 種 別	期 間	階 級	人 員	教 育 場 所
初任教育（第206期）	平成22年4月8日～10月27日	消防士	2	神奈川県消防学校
専科教育（救急科）第1回	平成22年5月10日～7月14日	消防士	1	神奈川県消防学校
専科教育（救急科）第2回	平成22年11月4日～ 平成23年1月21日	消防士	1	神奈川県消防学校
専科教育（救助科）	平成22年11月4日～12月3日	消防副士長	1	神奈川県消防学校

特殊技能資格者

平成23. 4. 1現在

資 格		階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
自 動 車 運 転	大 型 特 殊				1						1
	大 型			1	3	1	1				6
	中 型	8t 限 定		1	10	15	2	10	7	1	46
			普 通						1		1
危 険 物	乙 種 4 類				8	2	10	7			27
	丙 種			10	8		1				19
消 防 設 備 士	乙 種 6 類			1							1
消 防 設 備 点 検 資 格 者	点 検 資 格 第 1 種			1	2	1	2				6
	点 検 資 格 第 2 種		1	1	3	1	1				7
可 搬 消 防 ポ ン プ 等 整 備 資 格 者				1	1						2
第 2 、 3 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士			1	10	15	2	10	7			45
ガ ス 溶 接 技 能 講 習				3	10	1					14
小 型 ク レ ー ン 技 能 講 習				3	2						5
玉 掛 技 能 講 習				2	1						3
1 級 小 型 船 舶 操 縦 士					2						2
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士				5	2	1	2				10
2 級 ガ ソ リ ン 自 動 車 整 備 士				1							1
3 級 自 動 車 ガ ソ リ ン エ ン ジ ン 整 備 士				1							1
3 級 自 動 車 シ ャ シ 整 備 士				1							1
3 級 自 動 車 ジ ー ゼ ル エ ン ジ ン 整 備 士				1							1
第 二 種 酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者					1		1				2
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者					1						1
応 急 手 当 指 導 員				9	15	2	10	4			40
救 急 救 命 士				1	6	2	2	2			13
ア マ チ ュ ア 無 線 技 士				3	3						6

警 防 関 係

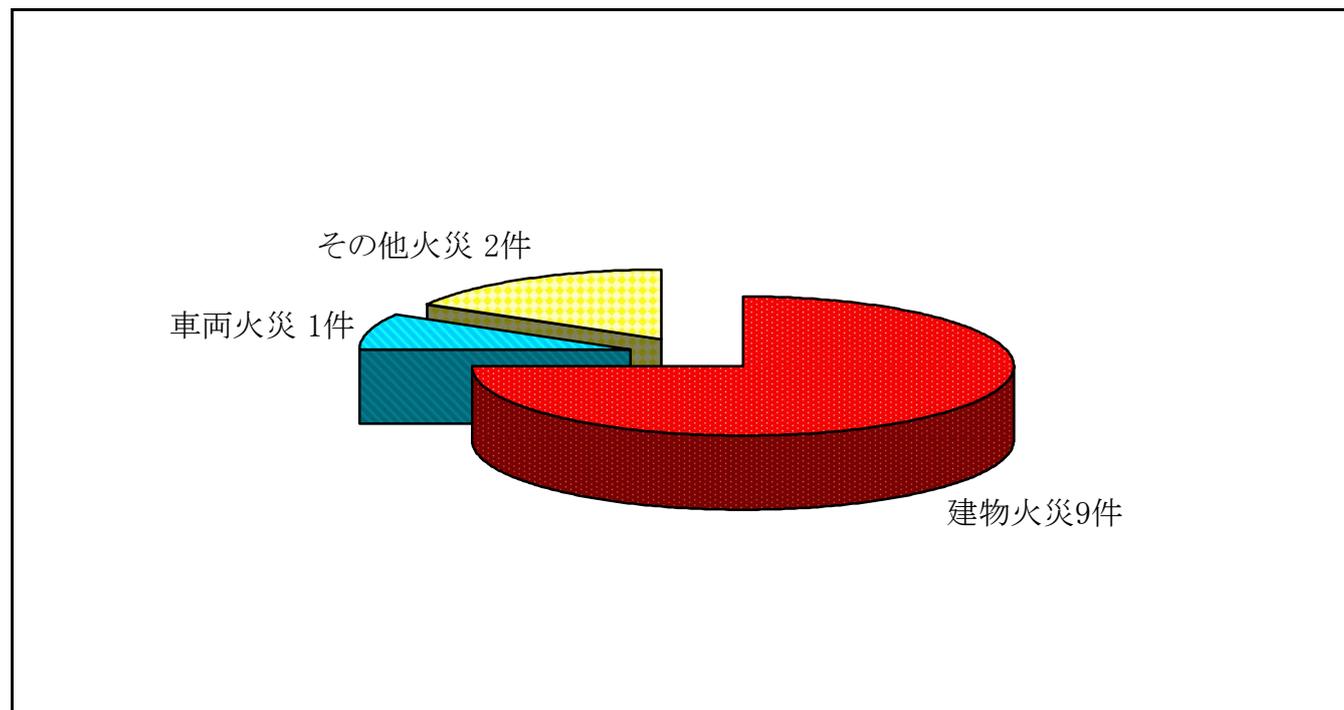
火災概況

平成22年中

火災件数		12件
火災種別	建物火災	9件 内訳（全焼4件・半焼2件・部分焼1件・ぼや2件）
	林野火災	
	車両火災	1件
	船舶火災	
	航空機火災	
	その他火災	2件
焼損面積		642.11㎡
損害見積額		117,783千円
罹災世帯数		10世帯
死傷者数		5人 内訳（負傷者5人）

火災別比較

平成22年中



出火原因別火災発生状況

平成22年中

区分 件数	火災種別	出火月日	出火原因		
			発火源	経過	着火物
1	建物火災	1月12日	ガステーブル	放置する、忘れる	ごみ屑
2	建物火災	2月15日	器具付きコード	電線が短絡する	電線被類
3	その他の火災	3月12日	不明	火遊び	枯草
4	建物火災	5月12日	石油ストーブ (開放式)	考え違いにより 使用を誤る	第二石油類
5	車両火災	6月5日	発電機	スパークする	第一石油類
6	建物火災	7月27日	その他	その他	その他
7	建物火災	8月3日	ガステーブル	輻射を受けて 発火する	合成樹脂と成形品
8	建物火災	8月15日	その他の移動可能 な電熱器	放置する、忘れる	合成樹脂と成形品
9	その他の火災	8月30日	不明	不明	すだれ、よしず
10	建物火災	11月24日	不明	不明	不明
11	建物火災	11月30日	タバコ	消したはずの ものが再燃	不明
12	建物火災	12月30日	プラグ	電線が短絡する	電線被類

覚知・時間別火災発生状況

平成22年中

時間	覚知		一一九番	加入電話	事後聞知	かけつけ	巡回中発見	その他	合計
0	～	1							
1	～	2							
2	～	3	1						1
3	～	4							
4	～	5	1						1
5	～	6							
6	～	7	1						1
7	～	8							
8	～	9							
9	～	10							
10	～	11	2						2
11	～	12	1						1
12	～	13	1						1
13	～	14	2						2
14	～	15							
15	～	16							
16	～	17	1						1
17	～	18							
18	～	19	1						1
19	～	20							
20	～	21							
21	～	22							
22	～	23							
23	～	24	1						1
合		計	12						12

地区別火災発生状況

平成22年中

地区 区分		単 位	木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
出 火 件 数		件	2		1		6	3	12
内 訳	建 物	件	2		1		4	2	9
	林 野	件							
	車 両	件						1	1
	船 舶	件							
	航 空 機	件							
	そ の 他	件					2		2
焼 損 棟 数		棟	3		1		5	2	11
内 訳	全 焼	棟					3	1	4
	半 焼	棟	2						2
	部 分 焼	棟	1				1		2
	ぼ や	棟			1		1	1	3
建 物 焼 損 面 積		m ²	182.66		0.4		229.83	229.22	642.11
林 野 焼 損 面 積		a							
そ の 他 焼 損 面 積		m ²					33.6		33.6
罹 災 世 帯 数		世帯	1				7	2	10
内 訳	全 損	世帯	1				3	1	5
	半 損	世帯							
	小 損	世帯					4	1	5
罹 災 人 員		人	2				14	3	19
火 災 損 害 額		千円	40,240		83		45,769	31,691	117,783
内 訳	建 物	千円	40,240		83		45,769	31,691	117,783
	林 野	千円							
	車 両	千円							
	船 舶	千円							
	航 空 機	千円							
	そ の 他	千円							

時間別火災発生状況

平成22年中

時間	区分	建 物				合 計	建 以 外 の 火 災	建 面 物 焼 損 積 (㎡)	林 面 野 焼 損 積 (a)	そ 焼 損 の 面 他 積 (㎡)	損 見 積 害 額 (千円)	
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や							
0	～	1										
1	～	2										
2	～	3	1			1	80.32			16,729		
3	～	4										
4	～	5		1		1	96.86			24,476		
5	～	6										
6	～	7										
7	～	8										
8	～	9										
9	～	10										
10	～	11		1	1	2	98.60			17,943		
11	～	12	1			1	57.42			1,694		
12	～	13							33.6			
13	～	14	1			2	229.22			31,691		
14	～	15										
15	～	16										
16	～	17	1			1	79.29			25,167		
17	～	18										
18	～	19				1	0.40			83		
19	～	20										
20	～	21										
21	～	22										
22	～	23										
23	～	24										
不	明											
合	計		4	2	1	2	9	3	642.11		33.6	117,783

消防署の消防車両等の出場状況

平成22年中

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
		出場												
火災	件数	1	1	1		1	1	1	3			2	1	12
	出場台数	5	5	3		5	2	4	11			9	2	46
	出場人員	16	17	10		16	7	12	32			29	7	146
救助	件数	3	5	2		2	2	4	4	1	3	2	3	31
	出場台数	12	21	8		9	5	15	16	4	7	9	10	116
	出場人員	31	51	22		25	12	39	38	10	21	28	26	303
警戒	件数													
	出場台数													
	出場人員													
危険排除	件数	3		1	4	1				1			3	13
	出場台数	9		3	8	2				2			8	32
	出場人員	30		9	25	6				7			22	99
偵察	件数	1		1	2	1	2	4		3	2	2	2	20
	出場台数	2		2	3	2	4	8		6	3	4	4	38
	出場人員	6		7	12	6	12	24		21	11	13	12	124
その他	件数						1			2				3
	出場台数						1			4				5
	出場人員						2			12				14
PA連携	件数	28	14	17	10	9	6	10	9	13	8	15	10	149
	出場台数	53	25	32	23	17	13	19	17	25	15	27	19	285
	出場人員	146	73	86	64	49	38	49	51	76	39	75	55	801
合計	件数	36	20	22	16	14	12	19	16	20	13	21	19	228
	出場台数	81	51	48	34	35	25	46	44	41	25	49	43	522
	出場人員	229	141	134	101	102	71	124	121	126	71	145	122	1,487

消防本部・署現有車両機械

平成23. 4. 1現在

用途	車両会社名	登録年月日	原動機ポンプ					無線呼出名称
			エンジン社名	気筒容積(CC)	ポンプ社名	ポンプ型式	ポンプ級別	
消防ポンプ自動車	日野	平成13年 11月19日	日野	4,890	畠山ポンプ	2段 バランス タービン	A-2	はやま1
消防ポンプ自動車	日野	平成15年 10月6日	日野	7,960	GM いちほら	直列 3段 タービン	A-2	はやま2
救助工作車	ニッサン	平成9年 7月15日	ニッサン	6,925				はやま きゅうじょ1
積載車	ニッサン	平成19年 8月29日	ニッサン	650				はやま3
小型動力ポンプ		平成8年 7月3日	富士 ロビン	635	富士 ロビン	高圧 1段 タービン	B-3	
救急自動車	トヨタ	平成21年 9月15日	トヨタ	2,690				きゅう きゅう はやま1
救急自動車	ニッサン	平成16年 11月18日	ニッサン	3,490				きゅう きゅう はやま2
広報車	三菱	平成9年 6月26日	三菱	1,830				はやま しれい1
資機材搬送車	ニッサン	平成15年 7月28日	ニッサン	1,990				はやま はんそう2
資機材搬送車	スバル	平成8年 8月21日	スバル	650				はやま はんそう1
二輪車	ホンダ	平成5年 9月9日	ホンダ	90				
二輪車	ホンダ	平成5年 9月9日	ホンダ	50				
二輪車	ホンダ	平成9年 7月28日	ホンダ	50				
二輪車	ホンダ	平成10年 8月25日	ホンダ	85				

救助資器材

平成23. 4. 1現在

区分	資器材名	数量	区分	資器材名	数量
一般救助用器具	かぎ付梯子	2	測定用器具	放射線測定器	2
	三連梯子	2		可燃性ガス測定器	5
	二連梯子	1		ポケット型線量計	10
	折りたたみ梯子	2			
	ワイヤー梯子	1	呼吸保護用器具	空気呼吸器	13
	空気式救助マット	1		空気呼吸器用ボンベ	56
	救命索発射銃	1		エアラインマスク	1
	サバイバースリング	2		送排風機	1
	マンホール救助帯	2			
	救助用縛帯	5	保護用器具	帯電手袋	9
	平担架	2		安全带	35
	バスケット型担架	2		防毒マスク	6
	スケッド型担架	1		防じんマスク	54
重量物排除用器具	可搬式ウィンチ (1.6 t)	3	保護用器具	放射能防護服	5
	油圧式救助器具 (10 t)	3		化学防護服 (簡易)	31
	大型油圧スプレッダー	1		化学防護手袋	10
	チェーンブロック	1			
	マット式空気ジャッキ	1	水難救助用器具	救命ボート	1
	油圧ジャッキ	3		船外機	1
				救命胴衣	25
切断用器具	大型油圧切断機	1	水難救助用器具	救命浮輪	6
	ガス溶断器	1			
	エンジンカッター	2	その他の救助用器具	携帯用投光器	13
	エンジン式チェーンソー	4		張力計	3
	空気鋸	1		携帯拡声器	6
	鉄線カッター	1		可搬式投光器	8
破壊用器具	ハンマードリル	1	その他の救助用器具	応急処置用セット	1
	ハンマー	4			
	携帯用コンクリート破壊器具	1			
	万能斧	9			

消防・その他資器材

平成23. 4. 1現在

資器材名	数量	資器材名	数量
ラインプロポーションナー	1	流量計	1
エアフォームノズル	1	検電器	2
訓練用煙発生機	1	非接触温度計	1
発電機	5	自動火災報知設備試験器具	1式
中和剤用噴霧器	1	回路試験器(アナログマルチテスター)	2
組立式水槽 (1.5 t)	2	ガラスシクネスゲージ	2
〃 (5.0 t)	4	騒音計	1
エアーコンプレッサー	3	ホースクリーナー	1
バッテリー充電器	1	双眼鏡	2
訓練用マット	2		

救急資器材

平成23. 4. 1現在

資器材名	数量	資器材名	数量
AEDトレーナー	6	全身固定バックボード	5
12誘導心電図	2	静脈注射訓練用モデル	1
自動体外式除細動器	4	気道管理トレーナー (成人用)	1
自動式心臓マッサージ器	1	気道管理トレーナー (乳児用)	1
紫外線殺菌装置	2	心肺蘇生訓練用人形 (成人用)	6
EOG滅菌器	1	心肺蘇生訓練用人形 (小児用)	5
オートクレーブ滅菌器	1	心肺蘇生用訓練人形 (乳児用)	5
オゾン発生器	1	訓練用人形 (上半身型)	14

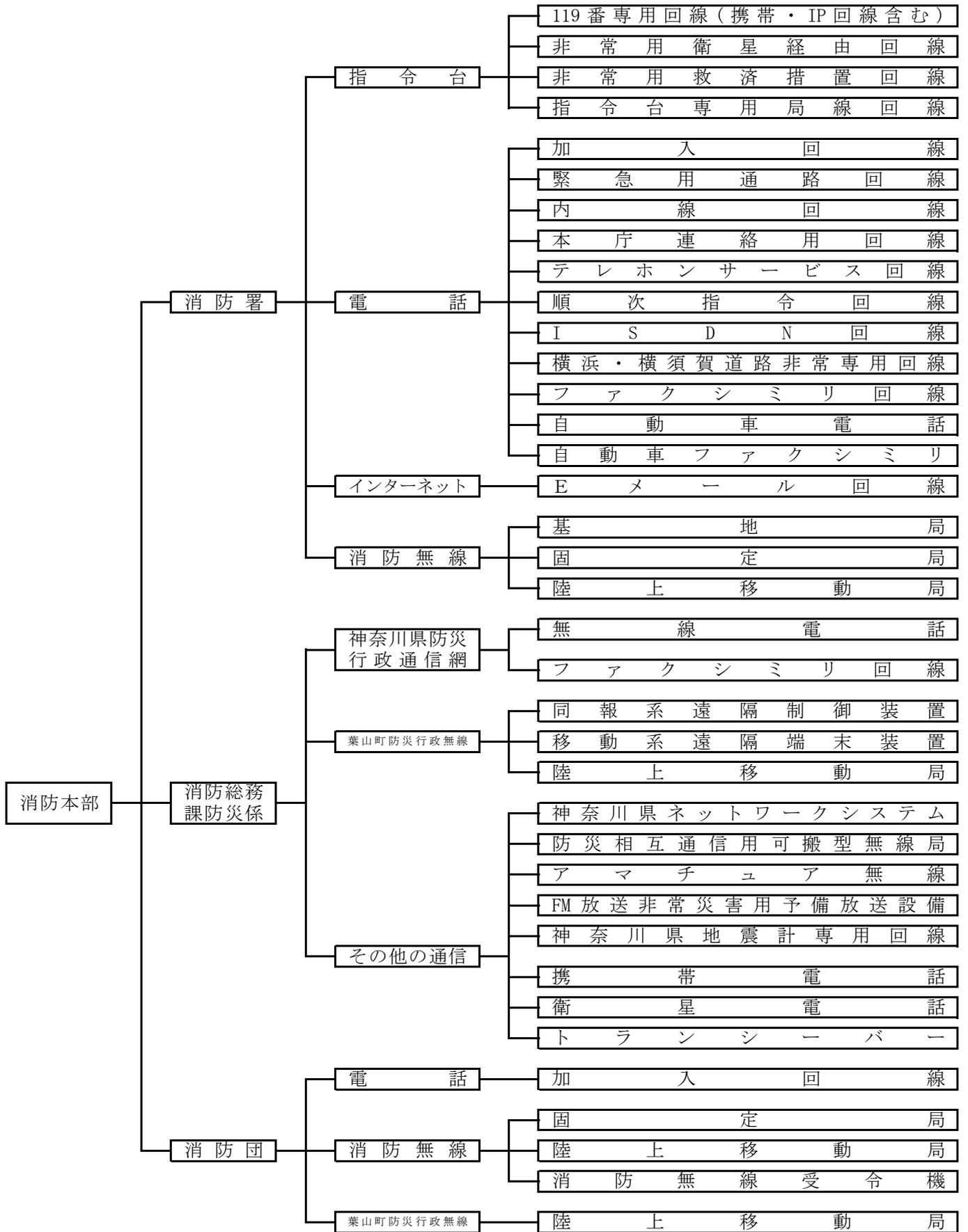
消防水利現勢

平成23. 4. 1 現在

種別		地区							合計
		木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄		
公設消防水利	消火栓	公設消火栓	27	58	37	119	112	83	436
	防火水槽	20 m ³ 以上 40 m ³ 未満			1	5	4	2	12
		40 m ³ 以上 100 m ³ 未満	1	14	6	13	19	15	68
		防火水槽小計	1	14	7	18	23	17	80
指定消防水利	消火栓	私設消火栓			1	1		1	3
	防火水槽	20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	1	4	2	8	9	1	25
		40 m ³ 以上 100 m ³ 未満	2	9	2	19	19	2	53
		100 m ³ 以上		1			1	1	3
		防火水槽小計	3	14	4	27	29	4	81
	その他	プー ル		1		1	2	2	6
		その他小計		1		1	2	2	6
合計			31	87	49	166	166	107	606

指 令 関 係

消防本部・署・団の通信施設



消防本部・署通信機器一覧表

1. 指令情報施設

平成23. 4. 1現在

種 別		数量	種 別		数量
緊急情報システム	指 令 台	2	緊急情報システム	屋 外 情 報 表 示 盤	1
	指令制御装置/非常用指令設備	1		車 両 運 用 表 示 盤	1
	自動出動指定装置	2		病 院 運 用 表 示 盤	1
	地 図 等 検 索 装 置	2		総 合 情 報 表 示 盤	1
	指令伝送送信装置	1		気 象 状 況 表 示 盤	3
	出動車両運用管理装置	1		モ ニ タ ー	2
	無線統制台	1		気 象 情 報 収 集 装 置	1
	長時間録音装置	1		庁 舎 監 視 カ メ ラ 装 置	3
	無線サイレン吹鳴装置	1		屋 外 情 報 盤 用 コ ン プ ュ ー タ	1
	放 送 装 置	1		自 動 車 電 話	2
	音 声 合 成 装 置	1		自 動 車 F A X	1
	順次指令装置	1			
	災害状況等自動案内装置	1			
	データ修正装置	1			
	システム監視装置	1			
	署所端末装置	1			
	指令情報送信装置	1			
	指令情報出力装置	1			
	無停電電源装置	1			
	直流電源装置	2			

2. 有線施設

平成23. 4. 1現在

種 別		数量	種 別		数量
指令台	119番専用回線(携帯・IP回線含む)	18	テレホンサービス回線(着信専用)	6	
	非常用衛星経由回線	1	順次指令回線	5	
	非常用救済措置回線	2	I S D N回線(県所有1回線含む)	2	
	指令台専用局線回線	2	横浜・横須賀道路非常専用回線	1	
加入回線(ダイヤルイン・多機能)	6	聴力障害者専用受付FAX回線	1		
緊急用通路回線(着信専用)	1	電 話 交 換 装 置	1		
内 線 回 線	65	主 配 線 盤 (M D F)	1		
本庁(役場)連絡用回線	5	E メ ー ル 回 線	1		

3. その他施設

平成23. 4. 1現在

種 別	数量	種 別	数量
職員出退表示盤	4	車両出動動態表示盤	2

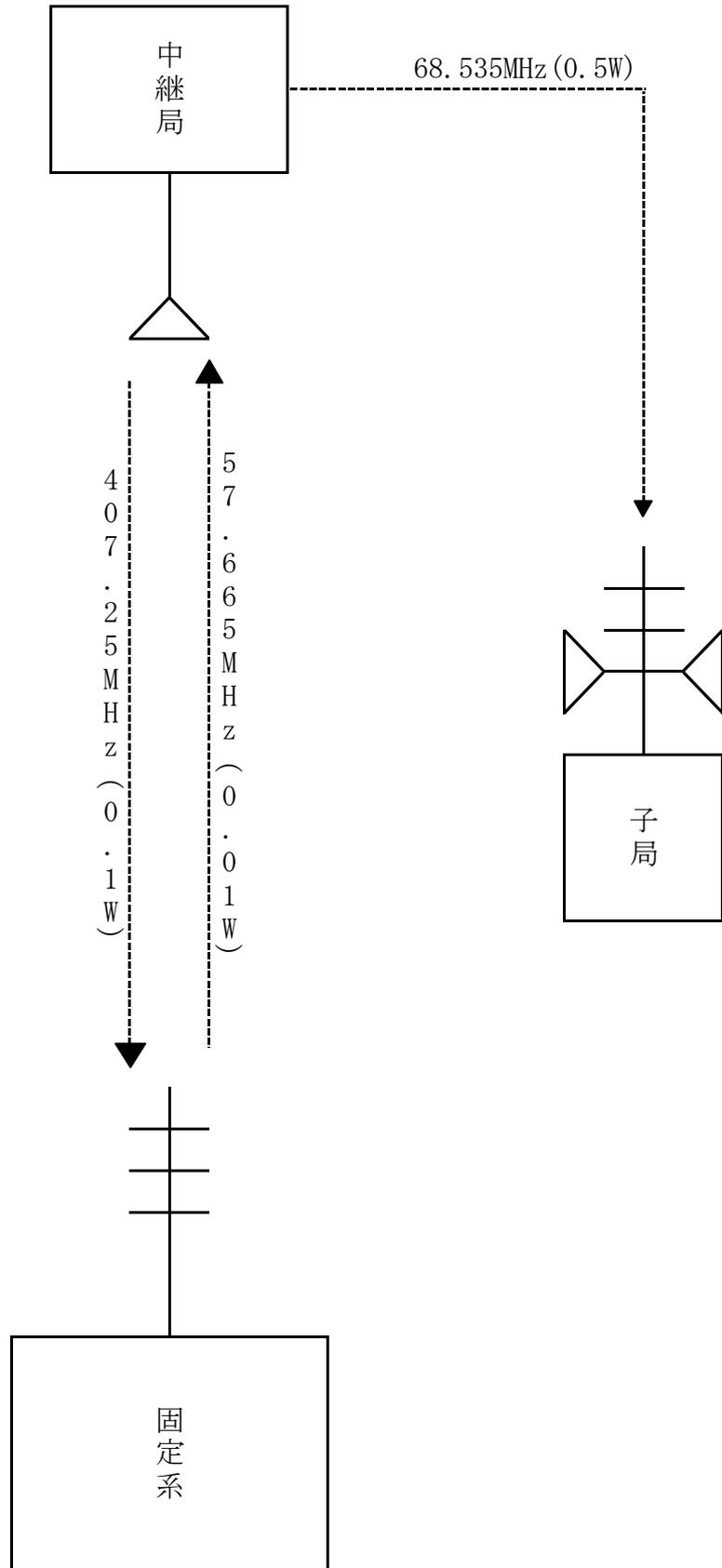
4. 無線局配置状況

平成23. 4. 1現在

区分	局数	呼出名称	空中線電力	市町村波	県内共通波	全国共通波			形態
						1CH	2CH	3CH	
固定局	1	親局	10W	○					
基地局	5	しょうぼうはやま	10W	○	○	○	○	○	
移動局	20	はやま 1	10W	○	○	○	○	○	車載型
		はやま 2	10W	○	○	○	○	○	〃
		はやま 3	10W	○	○	○	○	○	〃
		きゅうきゅうはやま1	10W	○	○	○	○	○	〃
		きゅうきゅうはやま2	10W	○	○	○	○	○	〃
		はやまはんそう1	10W	○	○	○	○	○	〃
		はやまはんそう2	10W	○	○	○	○	○	〃
		はやましれい1	10W	○	○	○	○	○	〃
		はやましれい3	10W	○	○	○	○	○	可搬型
		はやまきゅうじょ1	10W	○	○	○	○	○	車載型
		はやま 101	5W	○	○	○	○	○	携帯型
		はやま 102	5W	○	○	○	○	○	〃
		はやま 103	5W	○	○	○	○	○	〃
		はやま 104	5W	○	○	○	○	○	〃
		はやま 105	5W	○	○	○	○	○	〃
		はやま 106	5W	○	○	○	○	○	〃
		はやま 107	5W	○	○	○	○	○	〃
		はやまきゅうじょ101	5W	○	○	○	○	○	〃
はやまきゅうじょ102	5W	○	○	○	○	○	〃		

市町村波	150.31		1チャンネル
県内共通波	152.77		2チャンネル
全国共通波	150.73	(全共1)	3チャンネル
全国共通波	148.75	(全共2)	4チャンネル
全国共通波	154.15	(全共3)	5チャンネル

防災無線等系統図



防災通信機器等一覧表

1. 通信施設

(1) 葉山町防災行政無線

平成23. 4. 1現在

種 別		台数	設 置 場 所
固定系	送 受 信 装 置	1式	消 防 本 部 防 災 行 政 無 線 室
	統 制 卓	1台	消 防 本 部 防 災 行 政 無 線 室
	遠 隔 制 御 装 置	1台	総 務 部 総 務 課
	子 局	42台	町 内 各 箇 所

(2) 神奈川県防災行政通信網

平成23. 4. 1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
無 線 電 話	消 防 本 部 ・ 署 ・ 役 場	12台	各 関 係 部 署 に 配 置
ファクシミリ	消 防 署 指 令 室 ・ 総 務 部 総 務 課	2台	消 防 本 部 から 役 場 ま で は 有 線

ア. 無線電話配置場所及び番号

平成23. 4. 1現在

設 置 場 所	番 号	設 置 場 所	番 号
消 防 本 部 防 災 係	9 2 0 5	総 務 部 総 務 課	9 3 0 6
消 防 本 部 次 長	9 2 0 1	都 市 経 済 部 産 業 振 興 課	9 3 0 7
消 防 本 部 消 防 長	9 2 0 2	都 市 経 済 部 道 路 河 川 課	9 3 0 8
消 防 本 部 災 対 本 部 室	9 2 0 3	F A X (消 防 署 指 令 室)	9 2 0 0
消 防 本 部 予 防 係	9 2 0 4	F A X (総 務 部 総 務 課)	9 3 0 0
消 防 署 署 長	9 2 0 6		

2. その他通信機器等

平成23. 4. 1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
県ネットワークシステム	消 防 署 指 令 室	1式	県 と 電 話 回 線 に て 接 続
アマチュア無線局	消 防 本 部 事 務 室	2基	代 表 葉 山 ア マ チ ュ ア 無 線 ク ラ ブ
ずしはやまエフエム非常災害用予備放送設備	消 防 本 部 防 災 行 政 無 線 室	1式	F M 局 が 使 用 不 可 の 場 合 使 用
県 計 測 地 震 計	消 防 本 部 防 災 行 政 無 線 室	1式	県 と 電 話 回 線 に て 接 続
町 計 測 地 震 計	消 防 本 部 防 災 行 政 無 線 室	1式	町 内 震 度 4 以 上 の 時 同 報 作 動 (同 報 無 線 と 連 動)
衛 星 電 話	消 防 本 部 災 対 本 部 室	3台	災 害 非 常 用
携 帯 電 話	消 防 本 部 ・ 消 防 署 ・ 役 場	16台	災 害 非 常 用
特定少量電力トランシーバー	消 防 本 部 事 務 室	12台	災 害 非 常 用
防災相互通信用可搬型無線局	消 防 本 部 事 務 室	1台	災 害 通 信 用

3. 防災用移動系MC A無線

平成23. 4. 1現在

種	別	呼出し名称	配 置 先
移動局	1 車 載 型	は や ま 1	消 防 本 部
	2 車 載 型	は や ま 2	総 務 部 管 財 課
	3 車 載 型	は や ま 3	総 務 部 管 財 課
	4 車 載 型	は や ま 4	都 市 経 済 部 道 路 河 川 課
	5 車 載 型	は や ま 5	総 務 部 管 財 課
	6 車 載 型	は や ま 6	都 市 経 済 部 道 路 河 川 課
	7 可 搬 型	は や ま 50	葉 山 警 察 警 備 課
	8 可 搬 型	は や ま 51	保 健 セ ン タ ー
	9 可 搬 型	は や ま 52	消 防 本 部 防 災 行 政 無 線 室
	10 可 搬 型	は や ま 53	消 防 本 部 防 災 行 政 無 線 室
	11 可 搬 型	は や ま 200	消 防 本 部
	12 携 帯 型	は や ま 201	消 防 団 第 1 分 団 詰 所
	13 携 帯 型	は や ま 202	消 防 団 第 2 分 団 詰 所
	14 携 帯 型	は や ま 203	消 防 団 第 3 分 団 詰 所
	15 携 帯 型	は や ま 204	消 防 団 第 4 分 団 詰 所
	16 携 帯 型	は や ま 205	消 防 団 第 5 分 団 詰 所
	17 携 帯 型	は や ま 206	消 防 団 第 6 分 団 詰 所
	18 携 帯 型	は や ま 207	町 立 葉 山 小 学 校
	19 携 帯 型	は や ま 208	町 立 上 山 口 小 学 校
	20 携 帯 型	は や ま 209	町 立 長 柄 小 学 校
	21 携 帯 型	は や ま 210	町 立 一 色 小 学 校
	22 可 搬 型	は や ま 211	町 立 葉 山 中 学 校
	23 可 搬 型	は や ま 212	町 立 南 郷 中 学 校
	24 可 搬 型	は や ま 213	消 防 本 部 防 災 行 政 無 線 室
	25 可 搬 型	は や ま 214	ク リ ー ン セ ン タ ー
	26 可 搬 型	は や ま 215	消 防 署 指 令 室
	27 可 搬 型	は や ま 216	南 郷 上 ノ 山 公 園
	28 可 搬 型	は や ま 217	し お さ い 公 園
	29 携 帯 型	は や ま 301	消 防 本 部 防 災 係
	30 携 帯 型	は や ま 302	消 防 本 部 防 災 係

消防団通信機器等一覧表

1. 無線・有線施設

平成23. 4. 1現在

番号	設 備	台 数
1	固 定 局	6
2	陸 上 移 動 局	21
3	消 防 無 線 受 令 機	6
4	加 入 電 話	6

2. 無線局

平成23. 4. 1現在

種 別	局 数	概 要
固定局	6局	第1分団詰所 1台 (5.0W) 150.31MHZ
		第2分団詰所 1台 (5.0W) 150.31MHZ
		第3分団詰所 1台 (0.1W) 150.31MHZ
		第4分団詰所 1台 (0.5W) 150.31MHZ
		第5分団詰所 1台 (0.1W) 150.31MHZ
		第6分団詰所 1台 (5.0W) 150.31MHZ
陸上移動局	携帯型 21局	本 団 3台 (5.0W) 150.31MHZ (1チャンネル) 153.35MHZ (2チャンネル)
		第1分団詰所 3台 (1.0W) 153.35MHZ (1チャンネル)
		第2分団詰所 3台 (1.0W) 153.35MHZ (1チャンネル)
		第3分団詰所 3台 (1.0W) 153.35MHZ (1チャンネル)
		第4分団詰所 3台 (1.0W) 153.35MHZ (1チャンネル)
		第5分団詰所 3台 (1.0W) 153.35MHZ (1チャンネル)
		第6分団詰所 3台 (1.0W) 153.35MHZ (1チャンネル)

3. 無線局名称

平成23. 4. 1現在

名称		名 称
本団・分団別		
本 団		はやまだん1 ・ はやまだん2 ・ はやまだん3
各 分 団	第 1 分 団	はやまだん101・はやまだん102・はやまだん103
	第 2 分 団	はやまだん201・はやまだん202・はやまだん203
	第 3 分 団	はやまだん301・はやまだん302・はやまだん303
	第 4 分 団	はやまだん401・はやまだん402・はやまだん403
	第 5 分 団	はやまだん501・はやまだん502・はやまだん503
	第 6 分 団	はやまだん601・はやまだん602・はやまだん603

119番着信件数（固定・IP電話含む）

平成22年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	いたずら	間違い	その他		合計
							通報訓練等	試験	
件数	7	987	4	13	11	30	527	1,864	3,443

携帯電話119番着信件数

平成22年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	いたずら	間違い	その他			合計
							通報訓練等	転送		
								送	受	
件数	5	308	6	6	5	21	185	4	54	594

テレホンサービス着信回数

平成22年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数	454	807	356	235	556	292	393	559	360	303	493	438	5,246

氣 象 関 係

月別気象調
気温(°C)

平成22年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	17.5	19.0	20.2	21.9	26.7	29.7	32.4	35.1	34.8	27.9	22.5	22.7	
(起日)	(21日)	(9日)	(16日)	(11日)	(22日)	(28日)	(24日)	(17日)	(4日)	(11日)	(1日)	(3日)	
最低	-0.4	-1.3	0.8	2.1	9.0	12.7	21.2	22.9	13.6	9.2	7.0	1.6	
(起日)	(15日)	(7日)	(9日)	(17日)	(1日)	(2日)	(13日)	(9日)	(25日)	(28日)	(19日)	(28日)	
平均	7.1	6.5	9.0	12.0	17.5	21.7	25.9	27.6	24.2	18.5	13.6	10.1	16.2

湿度(%)

平成22年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	98.4	98.3	98.3	97.9	97.5	97.9	97.0	96.9	99.9	99.9	99.7	99.9	
(起日)	(12日)	(1日)	(24日)	(16日)	(3日)	(3日)	(8日)	(2日)	(28日)	(10日)	(1日)	(14日)	
最低	26.7	23.2	23.0	20.4	29.1	33.6	61.9	50.7	40.0	47.7	32.4	23.6	
(起日)	(13日)	(6日)	(11日)	(26日)	(9日)	(3日)	(10日)	(17日)	(29日)	(27日)	(9日)	(31日)	
平均	58.3	76.0	74.2	77.4	79.4	86.9	91.4	89.7	85.1	84.7	72.6	69.0	78.7

風速(m/s)

平成22年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	21.1	23.6	26.3	33.0	18.0	25.5	22.0	21.2	18.9	15.7	19.1	28.1	
風向	南	南	南南東	南	南南東	南	南南東	南	南南東	北西	北西	南南東	
(起日)	(21日)	(26日)	(21日)	(2日)	(7日)	(19日)	(29日)	(12日)	(8日)	(30日)	(9日)	(3日)	
平均	1.7	1.8	2.0	2.0	2.0	1.9	2.5	2.2	1.5	1.2	1.4	1.7	1.8

雨量(mm)・積雪量(cm)

平成22年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
10分間最大	1.0	2.5	8.5	5.0	1.5	5.0	6.0	5.5	5.5	4.0	3.0	8.0	
(起日)	(5日)	(27日)	(16日)	(28日)	(24日)	(23日)	(29日)	(9日)	(16日)	(10日)	(1日)	(3日)	
1時間最大	1.5	11.5	16.0	18.0	3.0	16.0	21.0	16.5	19.0	15.5	10.0	22.0	
(起日)	(5日)	(27日)	(16日)	(28日)	(20日)	(18日)	(29日)	(9日)	(16日)	(10日)	(1日)	(22日)	
日積算	7.0	48.5	43.5	67.0	27.0	53.5	43.0	55.5	69.5	67.5	34.5	63.0	
(起日)	(12日)	(27日)	(16日)	(28日)	(23日)	(18日)	(29日)	(9日)	(28日)	(30日)	(1日)	(3日)	
降雨日数	4	9	14	13	13	16	8	3	11	11	6	7	
降雨量	12.5	144.5	200.0	190.5	101.0	154.0	111.5	65.5	297.5	214.5	83.5	163.0	
積雪日数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
積雪量	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 年間平均は、月平均値を加除したものです。

※ 積雪日 2月2日

風向頻度調(%)

平成22年中

風向	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	平均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
北	5.6	6.4	7.9	5.8	6.9	4.2	2.9	1.3	1.0	4.3	10.2	8.7	8.0
北北東	9.8	12.2	18.7	13.9	13.1	6.3	4.1	2.0	2.0	6.8	14.4	12.7	11.4
北東	16.9	25.0	25.6	16.9	18.4	13.7	9.6	6.0	6.6	14.4	21.1	24.8	20.8
東北東	9.6	11.4	11.3	8.6	9.8	9.0	10.0	3.8	5.8	8.6	11.1	14.5	11.0
東	4.0	2.8	3.6	3.9	4.2	4.9	5.2	2.6	4.2	4.8	5.3	3.6	2.9
東南東	3.0	1.8	2.1	2.7	4.4	4.6	4.3	3.4	3.5	3.1	2.9	1.5	1.6
南東	4.0	1.9	1.4	2.5	4.2	5.4	7.6	9.2	6.0	6.2	1.6	0.8	1.0
南南東	12.9	3.4	4.7	8.2	8.7	18.5	21.1	37.7	37.8	10.3	0.7	1.2	1.9
南	9.7	5.4	6.5	9.6	8.4	16.0	15.3	20.6	20.8	8.6	1.0	1.5	3.2
南南西	4.3	3.0	2.0	4.7	3.7	5.7	7.4	8.1	7.7	5.4	1.5	0.8	1.4
南西	1.2	1.2	0.9	1.6	1.1	1.5	1.9	1.2	1.3	1.1	0.6	0.5	1.0
西南西	0.8	1.4	0.8	1.0	0.9	0.8	0.7	0.4	0.6	0.6	0.2	0.7	1.1
西	2.2	6.4	1.8	1.8	1.4	0.8	0.9	0.3	0.5	0.8	0.3	3.5	7.6
西北西	4.3	10.4	3.7	5.3	3.5	1.2	1.5	0.6	0.4	2.7	2.5	6.6	12.6
北西	4.7	3.7	4.5	7.8	5.4	2.8	2.7	1.0	0.4	6.6	9.4	7.2	4.9
北北西	3.9	3.0	4.2	5.4	5.2	3.6	2.8	0.9	0.5	4.4	7.8	5.5	3.5
静穏	3.3	0.6	0.3	0.3	0.7	1.0	2.0	0.9	0.9	11.2	9.5	5.9	6.0

予 防 関 係

防火対象物・防火管理者選任状況

(延べ面積150㎡以上)

平成23. 4. 1現在

防火対象物の区分		防火対象物数	防火管理者 選任義務対象物	防火管理者 選任届出済対象物
1 項	イ	劇場等		
	ロ	公会堂等	14	14
2 項	イ	キャバレー等		
	ロ	遊技場等		
	ハ	性風俗関連店舗等		
	ニ	カラオケボックス等		
3 項	イ	待合等		
	ロ	飲食店等	18	15
4 項		物品販売店等	18	12
5 項	イ	旅館等	32	26
	ロ	共同住宅等	198	24
6 項	イ	病院等	2	1
	ロ	社会福祉施設等（入所）	12	11
	ハ	社会福祉施設等（通所）	5	4
	ニ	幼稚園等	5	5
7 項		学校等	7	7
8 項		図書館等	4	3
9 項	イ	蒸気浴場等		
	ロ	公衆浴場等		
10 項		停車場等		
11 項		神社等	16	4
12 項	イ	工場等	5	1
	ロ	スタジオ等		
13 項	イ	駐車場等	3	
	ロ	格納庫等		
14 項		倉庫等	9	
15 項		事業所等	41	9
16 項	イ	特定複合用途	62	31
	ロ	非特定複合用途等	17	1
16項の2		地下街		
16項の3		準地下街		
17 項		重要文化財等	1	1
18 項		アーケード		
19 項		山林		
20 項		舟車		
合 計		469	169	166

中高層防火対象物状況（3階建て以上）

（延べ面積150㎡以上）

平成23. 4. 1現在

		階数						合計	
		3	4	5	6	7	8		
1 項	イ	劇場等							
	ロ	公会堂等	2					2	
2 項	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等							
	ハ	性風俗関連店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3 項	イ	待合等							
	ロ	飲食店等	3					3	
4 項		物品販売店等							
5 項	イ	旅館等	6	5		1		12	
	ロ	共同住宅等	32	12	9	8	1	1	63
6 項	イ	病院等	1						1
	ロ	社会福祉施設等（入所）	4	2	1				7
	ハ	社会福祉施設等（通所）	1						1
	ニ	幼稚園等							
7 項		学校等	7						7
8 項		図書館等							
9 項	イ	蒸気浴場等							
	ロ	公衆浴場等							
10 項		停車場等							
11 項		神社等	1						1
12 項	イ	工場等	1						1
	ロ	スタジオ等							
13 項	イ	駐車場等							
	ロ	格納庫等							
14 項		倉庫等	1						1
15 項		事業所等	9	2					11
16 項	イ	特定複合用途	23	5	2		1		31
	ロ	非特定複合用途等	8	3					11
16 項の2		地下街							
16 項の3		準地下街							
17 項		重要文化財等							
18 項		アーケード							
19 項		山林							
20 項		舟車							
合計			99	29	12	9	2	1	152

予防関係届出状況

平成22年度

届出	月													合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
防火管理者選任（解任）届出書	10	3	6	3	1	2	1	6	1	1	4	1	39	
消防計画作成（変更）届出書	14	7	7	9	1	3	3	3	3	4	4	6	64	
消防用設備等設置届出書	1	3		1	5	3	7	4	13	13	2	6	58	
工事整備対象設備等着工届出書	4	4	2	2	2		3	6	3	1	3	5	35	
消防用設備等点検結果報告書	16	11	36	12	10	12	7	12	22	10	25	11	184	
防火対象物点検結果報告書	1	1		2	2			1	4		2	9	22	
自衛消防訓練通知書	17	13	27	11	7	13	22	14	14	14	12	21	185	
防火対象物使用開始届出書	3	1	2	3	1		1	2	4	2	3	1	23	
催物開催届出書	2	1	1	1				1					6	
変電設備設置届出書									1				1	
発電設備設置届出書										1		1	2	
蓄電池設備設置届出書														
消防用設備等特例規定適用申請書														
圧縮アセチレンガス貯蔵又は取扱いの開始届出書				1									1	
防火対象物廃止届出書							2			1			3	
火災と紛らわしい行為の届出書														
道路工事（占用）届出書														
煙火打上げ届出書														
炉等設置届出書														
特例認定適用申請書														
防火自主点検結果報告書														

危険物関係届出状況

平成22年度

月 届出	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
少量危険物貯蔵取扱い届出書											1	1	2
少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書													
少量危険物貯蔵取扱い休止届出書													
危険物保安監督者選任(解任)届出書		1											1
危険物製造所等完成検査申請書				1	1	1			2	1			6
危険物貯蔵所(取扱所)変更届出書	1	2		6	3								12
予防規程制定変更認可申請書				1									1
危険物製造所等変更許可申請書										1			1
危険物製造所等仮使用承認申請書													
危険物仮貯蔵・仮取扱申請書													
危険物製造所等譲渡引渡し申請書													
危険物製造所等設置許可申請書						1							1
危険物製造所等休止届出書										1			1
危険物製造所等廃止届出書													
資料提出書	2	1	1		2	1	1	1	2	2	1		14

火災予防査察実施状況

防火対象物（対象は150㎡以上）

平成22年度

査察実施数			防火対象物数 A	査察 実施数 B	査察 実施率 B/A %	警告数	命令数
消防法施行令 別表第1の防火対象物							
(1)	ロ	公会堂等	14	0	0	0	0
(3)	ロ	飲食店等	18	8	44	0	0
(4)		物品販売店等	18	9	50	0	0
(5)	イ	旅館等	32	30	94	0	0
	ロ	共同住宅等	198	0	0	0	0
(6)	イ	病院等	2	0	0	0	0
	ロ	社会福祉施設等（入所）	12	12	100	0	0
	ハ	社会福祉施設等（通所）	5	1	20	0	0
	ニ	幼稚園等	5	0	0	0	0
(7)		学校等	7	0	0	0	0
(8)		図書館等	4	0	0	0	0
(11)		神社等	16	0	0	0	0
(12)	イ	工場等	5	0	0	0	0
(13)	イ	駐車場等	3	0	0	0	0
(14)		倉庫	9	0	0	0	0
(15)		事業所等	41	0	0	0	0
(16)	イ	特定複合用途	62	9	15	0	0
	ロ	非特定複合用途等	17	0	0	0	0
(17)		重要な文化財等	1	0	0	0	0
合 計			469	69	15	0	0

危険物施設

平成22年度

査察実施数		危険物 施設数 A	査察 実施数 B	査察 実施率 B/A %	警告数	命令数
危険物施設						
屋内タンク貯蔵所		1	1	100	0	0
地下タンク		19	8	47	0	0
移動タンク貯蔵所		1	1	100	0	0
給油取扱所		9	9	100	0	0
第2種販売所		1	0	0	0	0
一般取扱所		11	0	0	0	0

危険物施設状況

平成23. 4. 1現在

区分		貯蔵所等	貯 蔵 所				取扱所			合 計
			屋 内	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	移 動 タ ン ク	給 油	第 2 種 販 売	一 般	
類 別	第 1 類									
	第 2 類									
	第 3 類									
	第 4 類		1	19	1	9	1	11	42	
	第 5 類									
	第 6 類									
合 計			1	19	1	9	1	11	42	
数 量 別	5 倍 以 下		1	15	1			5	22	
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下			3		1		6	10	
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下			1		2	1		4	
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下					1			1	
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下					2			2	
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下					1			1	
	200 倍 を 超 え る も の					2			2	
合 計			1	19	1	9	1	11	42	

地区別危険物施設状況

平成23. 4. 1現在

地区 貯蔵所等		木	上	下	一	堀	長	合
		古 庭	山 口	山 口	色	内	柄	計
屋内貯蔵所								
屋内タンク貯蔵所						1		1
地下タンク貯蔵所		1	1	3	2	9	3	19
移動タンク貯蔵所							1	1
給油取扱所		3			3	2	1	9
第2種販売取扱所		1						1
一般取扱所		1	2	1	3	2	2	11
合計		6	3	4	8	14	7	42
少量危険物		3	11	4	10	12	10	50

危険物貯蔵取扱最大数量状況

平成23. 4. 1現在

地区 類別		木	上	下	一	堀	長	合
		古 庭	山 口	山 口	色	内	柄	計
第4類 (0)	第1石油類	88,000			104,400	5,700	24,760	222,860
	第2石油類	38,956.8	16,078	15,980	80,800	45,917	40,258	237,989.8
	第3石油類	6,000		5,000	15,000	67,381	6,000	99,381
	第4石油類							
合計		132,956.8	16,078	20,980	200,200	118,998	71,018	560,230.8

月別危険物施設許認可状況

平成22年度

区分		月												合計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
許可	変更				1	1						1			3
	設置						1								1
完成 検査	変更				1	1						1			3
	設置									2					2
他市への変更 (移動タンク)															
仮使用承認												1			1
休止届															
廃止届															
完成検査前検査						1									1
合計					2	3	1			2	3				11

危険物施設許認可処理状況

平成22年度

貯蔵所等 件数		貯蔵所				取扱所			合計
		屋内	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	給油	第2種 販売	一般	
許可	変更					1		2	3
	設置							1	1
完成 検査	変更					1		2	3
	設置			1				1	2
他市への変更 (移動タンク)									
仮使用承認						1			1
休止届									
廃止届									
完成検査前検査								1	1
合計				1		3		7	11

用途別消防同意・確認通知状況

(計画通知は同意を含む)

平成22年度

用途		種別	新	増	改	そ	合	
			築	築	築	の	計	
1	イ	劇場等						
	ロ	公会堂等						
2	イ	キャバレー等						
	ロ	遊技場等						
	ハ	性風俗関連店舗等						
3	イ	待合等						
	ロ	飲食店等						
4		物品販売店等	3				3	
5	イ	旅館等	2				2	
	ロ	共同住宅等	1				1	
6	イ	病院等		1			1	
	ロ	社会福祉施設等（入所）		1			1	
	ハ	社会福祉施設等（通所）	1	1			2	
	ニ	幼稚園等						
7		学校等		1			1	
8		図書館等						
9	イ	蒸気浴場等						
	ロ	公衆浴場等						
10		停車場等						
11		神社等						
12	イ	工場等						
	ロ	スタジオ等						
13	イ	駐車場等						
	ロ	格納庫等						
14		倉庫等						
15		事業所等						
16	イ	特定複合用途	3				3	
	ロ	非特定複合用途等						
住	宅	同意	7				7	
		通知	247	9			256	
長		屋	4				4	
海		の	8				8	
建	築	設	備	通知	10			10
そ		の	他	12				12
小	計	同意	41	4			45	
		通知	257	9			266	
合		計	298	13			311	

月別消防同意・確認通知・計画通知状況

平成22年度

月	種別	新築	増築	改築	その他	合計
		4	4			
4		16	1			17
5		4				4
6		16				16
		45	3			48
7		2	1			3
		10				10
8			1			1
		19	2			21
9						
10						
11		1	1			2
		92	3			95
12		4	1			5
		10				10
1		1				1
		15				15
2		2				2
		29				29
3		7				7
		21				21
小計		41	3			44
		257	9			266
			1			1
合計		298	13			311

上段 消防同意によるもの
 中段 確認通知書によるもの
 下段 計画通知によるもの

地区別消防同意・確認通知・計画通知状況

平成22年度

区分	地区							合計
	木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄		
消防同意	1	1	10	15	13	4	44	
確認通知	11	10	38	58	50	99	266	
計画通知		1					1	
合計	12	12	48	73	63	103	311	

過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況

種別	年				
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
新築	48	45	31	45	41
	283	201	214	226	257
	1				
増築	4	4	1	4	3
	12	16	13	1	9
		2			1
改築		1			
その他		1	2	1	
		4	14	2	
小計	52	51	34	50	44
	295	221	241	229	266
	1	2	0		1
合計	696	274	275	279	311

上段 消防同意によるもの
 中段 確認通知書によるもの
 下段 計画通知によるもの

救 急 関 係

救急概況

救急出場件数単位：件

救急搬送人員単位：人

平成22年中

救 急 出 場 件 数	1,538
救 急 搬 送 人 員	1,500

町内外在住別搬送人員状況

単位：人

平成22年中

町 内 在 住 者	1,173
町 外 在 住 者	320
そ の 他	7
合 計	1,500

傷病程度別搬送人員状況

単位：人

平成22年中

死 亡	重症	中等症	軽 症	そ の 他	合 計
28	107	644	721	0	1,500

発生日別状況

単位：件

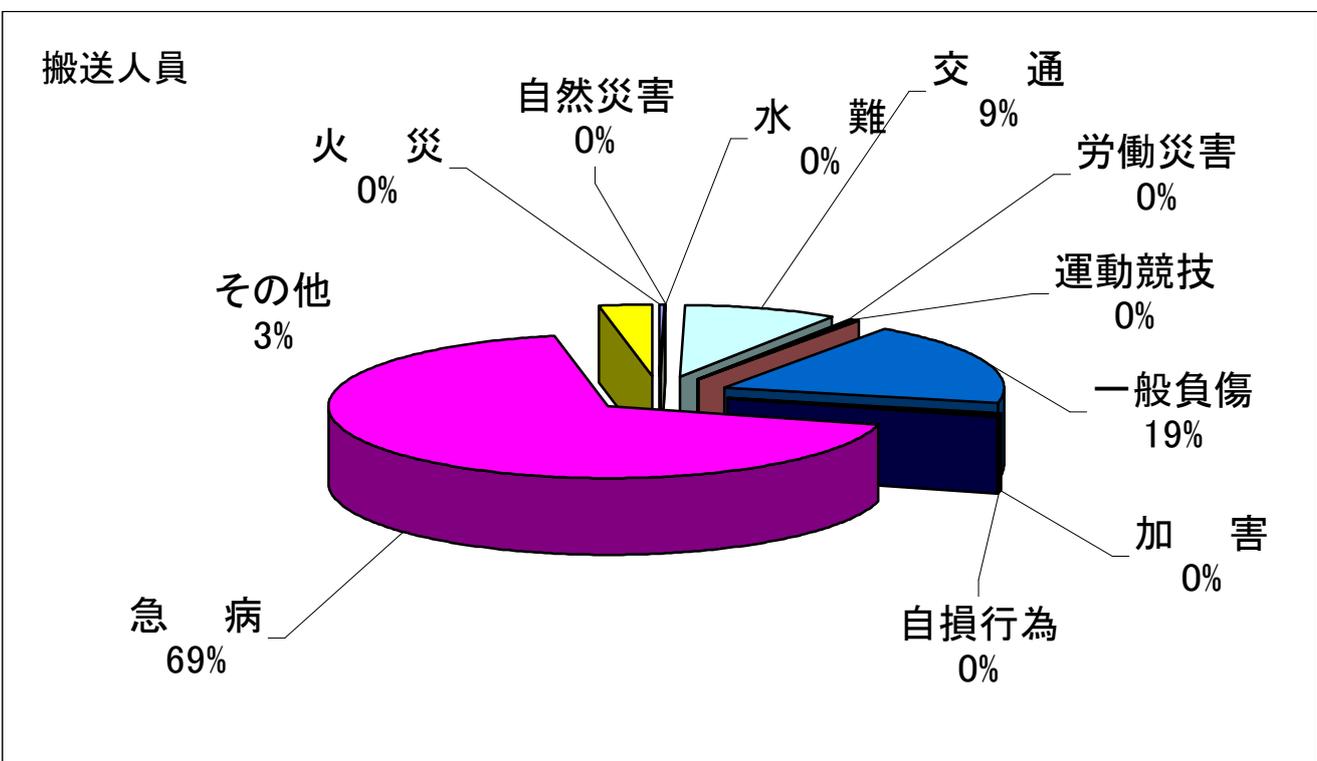
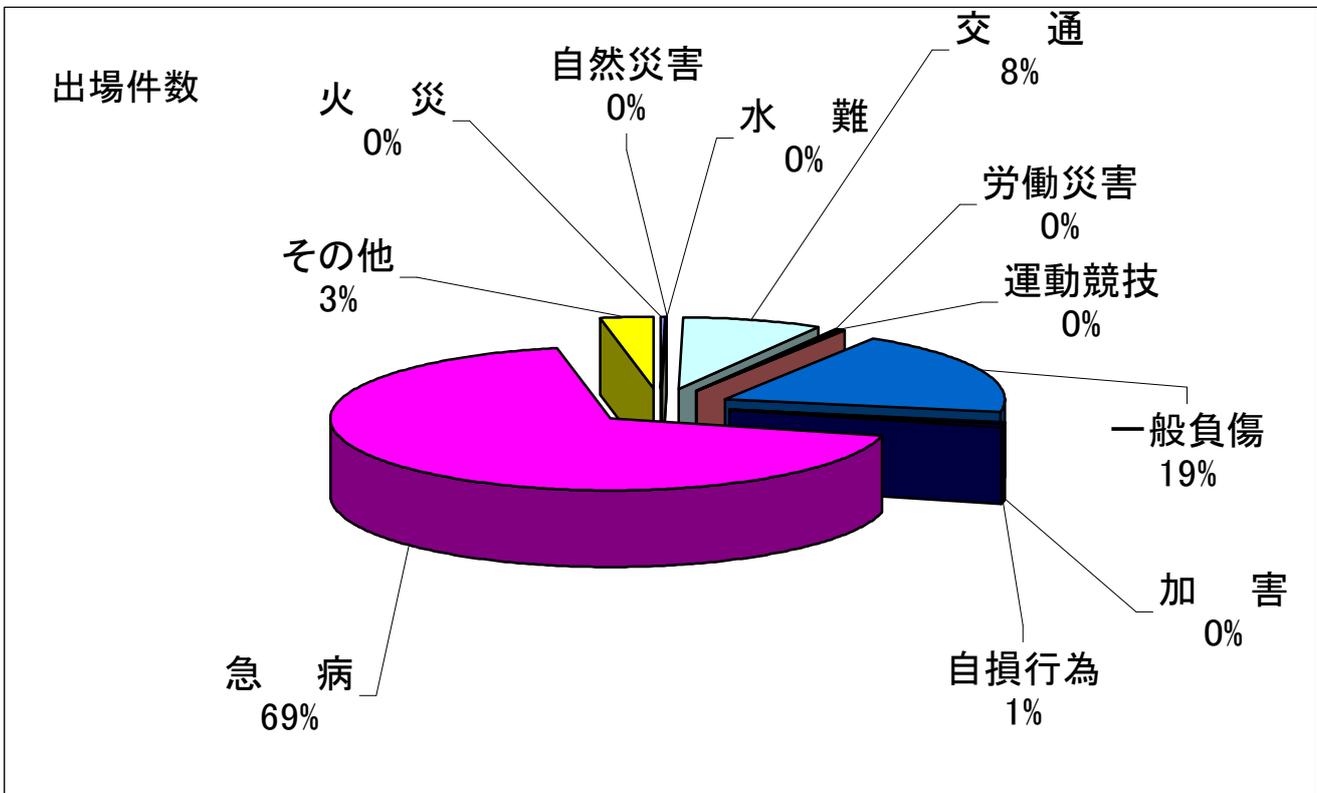
平成22年中

休 日	休日以外	合 計
313	1,225	1,538

救急出場・搬送人員状況

平成22年中

種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
出場件数	3		3	123	4	5	289	4	13	1,048	46	1,538
搬送人員	4		2	130	4	5	282	6	5	1,016	46	1,500



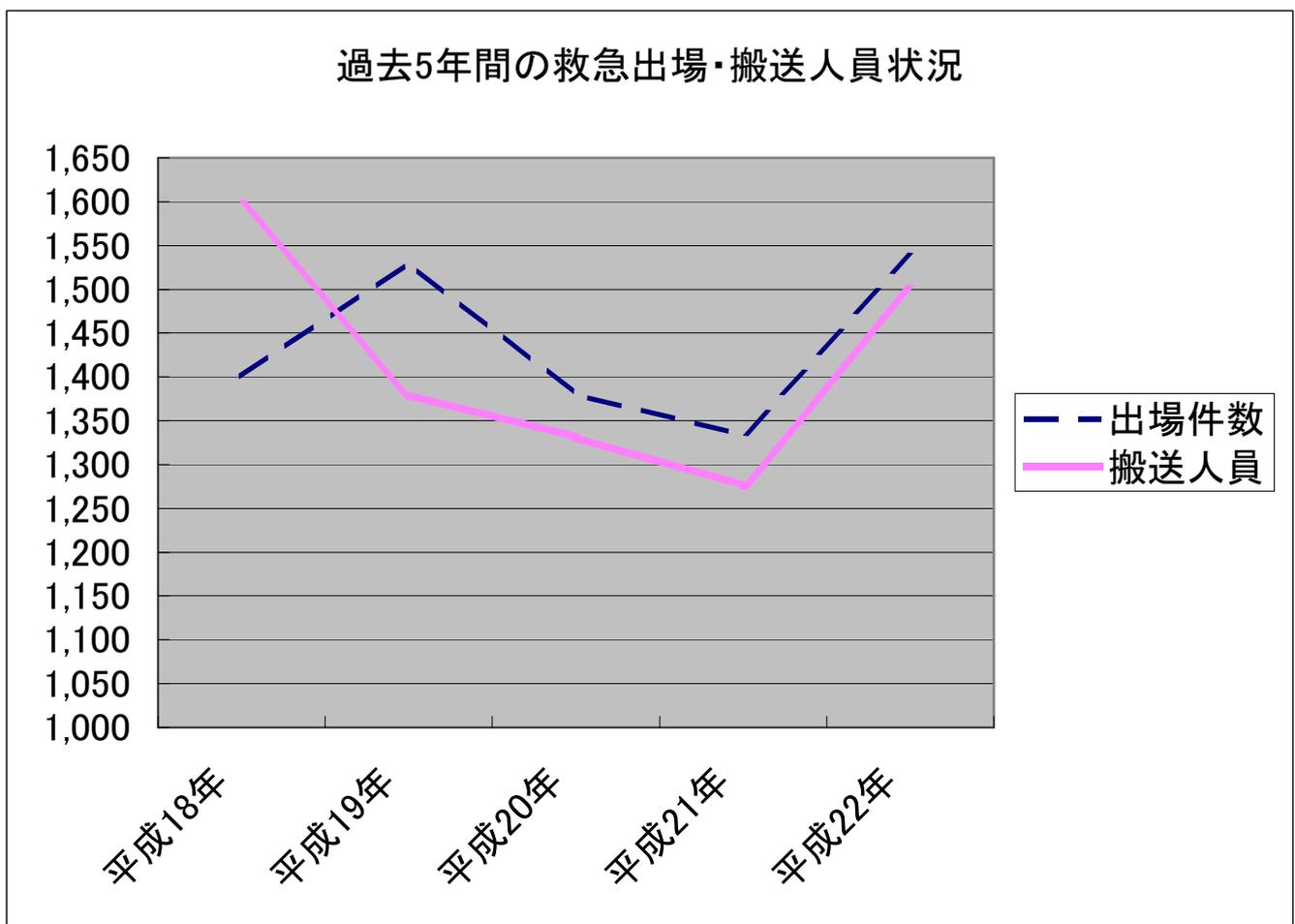
月別救急出場・搬送人員状況

平成22年中

月	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
	件数/人員													
1	出場件数	1			13			16	1	1	110	4	146	7
	搬送人員	1			13			16	1		105	4	140	
2	出場件数	1			7			21			69	2	100	4
	搬送人員	2			7			21			65	2	97	
3	出場件数				10		1	16		1	78	6	112	6
	搬送人員				10		1	15			76	6	108	
4	出場件数				9			16			68	1	94	4
	搬送人員				10			16			65	1	92	
5	出場件数	1		1	11			23		2	78	3	119	8
	搬送人員	1			15			22		1	74	3	116	
6	出場件数				10	2		22		3	95	5	137	7
	搬送人員				10	2		20			93	5	130	
7	出場件数				15			26		1	82	4	128	4
	搬送人員				17			25		1	80	4	127	
8	出場件数				14	1		28			119	3	165	5
	搬送人員				14	1		26			117	3	161	
9	出場件数			1	6	1		30	1	3	89	3	134	5
	搬送人員			1	5	1		31	3	1	87	3	132	
10	出場件数				11		2	28	1		88	4	134	3
	搬送人員				12		2	27	1		87	4	133	
11	出場件数			1	9		2	32	1	1	80	3	129	4
	搬送人員			1	9		2	32	1	1	77	3	126	
12	出場件数				8			31		1	92	8	140	2
	搬送人員				8			31		1	90	8	138	
合計	出場件数	3		3	123	4	5	289	4	13	1,048	46	1,538	59
	搬送人員	4		2	130	4	5	282	6	5	1,016	46	1,500	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況

年	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
	件数/人員													
平成18年	出場件数	3		7	126	8	3	299	2	7	936	59	1,450	65
	搬送人員	4		4	136	8	3	288	2	3	894	59	1,401	
平成19年	出場件数			7	124	13	5	330	5	16	1,043	54	1,597	77
	搬送人員			4	130	13	4	323	5	11	987	54	1,531	
平成20年	出場件数	1		5	120	5	5	296	4	9	882	53	1,380	67
	搬送人員	4		4	126	5	5	284	4	5	841	53	1,331	
平成21年	出場件数	1		11	100	10	10	260	2	13	905	22	1,334	66
	搬送人員	1		6	105	10	9	247	2	8	866	22	1,276	
平成22年	出場件数	3		3	123	4	5	289	4	13	1,048	46	1,538	59
	搬送人員	4		2	130	4	5	282	6	5	1,016	46	1,500	



町内外在住別救急搬送人員状況

平成22年中

種別 在在	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
町内	4			72	2	1	209	6	5	844	30	1,173
町外			2	57	2	4	70			169	16	320
その他				1			3			3		7
合計	4		2	130	4	5	282	6	5	1,016	46	1,500

時間別救急出場状況

平成22年中

種別 時間	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0 ~ 2				11			13		1	60		85
2 ~ 4				3			8			59	2	72
4 ~ 6				3			5	1	1	56		66
6 ~ 8				10			15		1	71	1	98
8 ~ 10				12			39		3	100	4	158
10 ~ 12	1		1	10		2	25	1		98	8	146
12 ~ 14	1		2	15		1	36		3	109	17	184
14 ~ 16				19	4	1	40	1	1	105	6	177
16 ~ 18	1			16			39			115	5	176
18 ~ 20				15			20		1	107	2	145
20 ~ 22				8		1	28		2	84		123
22 ~ 24				1			21	1		84	1	108
合計	3		3	123	4	5	289	4	13	1,048	46	1,538

曜日別救急出場状況

平成22年中

種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
日			1	17		2	53	1		150	3	227
月	1			16		1	29	2		159	8	216
火	1		1	12	1		34		4	161	5	219
水	1			22		1	35		3	145	9	216
木				14	2	1	44			130	6	197
金			1	16			43	1	2	148	9	220
土				26	1		51		4	155	6	243
合計	3		3	123	4	5	289	4	13	1,048	46	1,538

覚知別救急出場状況

平成22年中

種別 覚知	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
119番	1		1	50	2	4	197	1	7	828	16	1,107
加入			1	11	1		40		2	116	29	200
かけつけ				2			5		1	8		16
その他	2		1	60	1	1	47	3	3	96	1	215
合計	3		3	123	4	5	289	4	13	1,048	46	1,538

地区別救急出場状況

平成22年中

種別 地区	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
木古庭				7			20			48		75
上山口				15	1	1	18		2	78	8	123
下山口				12			25		2	91	8	138
一色			2	32			74	1	4	300	23	436
堀内	2		1	26	2	3	92	2	3	329	3	463
長柄	1			27	1	1	55	1	2	199		287
町外				4			5			3	4	16
合計	3		3	123	4	5	289	4	13	1,048	46	1,538

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況

平成22年中

年齢区分	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	傷病程度												
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症							1					1
	その他												
	合計								1				
乳幼児	死亡												
	重症												
	中等症				2			2			8	6	18
	軽症				1			23			42	1	67
	その他												
	合計				3			25			50	7	85
少年	死亡												
	重症											1	1
	中等症			1	4			1			5	1	12
	軽症				12		2	10	3		16		43
	その他												
	合計			1	16		2	11	3		21	2	56
成人	死亡			1				1		1	5		8
	重症				2			1		1	16	1	21
	中等症				24		1	18	2	2	109	1	157
	軽症	1			62	3	2	56	1	1	172	3	301
	その他												
	合計	1		1	88	3	3	76	3	5	302	5	487
老人	死亡										20		20
	重症							6			72	7	85
	中等症				9			63			361	24	457
	軽症	3			14	1		100			190	1	309
	その他												
	合計	3			23	1		169			643	32	871
合計	死亡			1				1		1	25		28
	重症				2			7		1	88	9	107
	中等症			1	39		1	84	2	2	483	32	644
	軽症	4			89	4	4	190	4	1	420	5	721
	その他												
	合計	4		2	130	4	5	282	6	5	1,016	46	1,500

救急隊員の行った応急処置

平成22年中

種別 応急処置	急	交	一	そ	合
	病	通	般	の	計
急 処 置 対 象 人 員	1,015	130	281	72	1,498
止 血	7	4	26		37
固 定	16	98	88	11	213
人 工 呼 吸	9			1	10
心 マ ッ サ ー ジ					
うち 自 動					
心 肺 蘇 生	34		1	2	37
うち 自 動					
酸 素 吸 入	326	10	15	32	383
気 道 確 保	73		4	5	82
うち 経 鼻 エ ア ウ ェ イ	8			2	10
うち 喉 頭 鏡 ・ 鉗 子 等 使 用	8		2		10
うち ラ リ ン ゲ ア ル マ ス ク 等 使 用	19				19
気 管 挿 管	7		1	1	9
保 温	253	28	54	20	355
被 覆	4	49	113	8	174
在 宅 療 法 継 続	24		5	1	30
A 点 滴					
B 外 瘻	3		2	1	6
C そ の 他	21		3		24
シ ョ ッ ク パ ン ツ に よ る 血 圧 保 持					
除 細 動	8				8
静 脈 路 確 保	27		1	2	30
薬 剤 投 与	10		1	2	13
そ の 他 の 応 急 処 置	994	126	277	70	1,467
血 圧 測 定	970	130	266	69	1,435
聴 診 器	629	93	148	37	907
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	985	129	272	70	1,456
心 電 図	695	39	74	33	841
うち 伝 送					
合 計	5,064	706	1,345	363	7,478

収容状況

平成22年中

種別 収容先		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	延搬送人員
		町内医療機関				1							50
町外医療機関	逗子市				6	1		16			22		45
	横須賀市	4		2	102	1	4	196	2	4	641	23	979
	鎌倉市				18	1	1	55	4		231	13	323
	横浜市				3	1		14		1	69	7	95
	その他							1			3		4
合計		4		2	130	4	5	282	6	5	1,016	46	1,500

医療機関紹介状況

平成22年中

照会先	管内当番医療機関	当番以外の管内医療機関	その他の医療機関	合計
件数	272		615	887

応急手当普及啓発活動実施状況

平成22年中

講座	実施要綱に基づく普及講習		その他の講習	合計
	普通救命講習	上級救命講習		
実施回数	14		9	23
受講人数	144		219	363

応援救急出場件数

平成22年中

種別 区分	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
	災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
	害	害		事	災	競	負		行		他	
				故	害	技	傷		為			
横須賀市				1								1
逗子市				3			5			3	4	15
合計				4			5			3	4	16

受援救急件数

平成22年中

種別 区分	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
	災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
	害	害		事	災	競	負		行		他	
				故	害	技	傷		為			
横須賀市							1					1
逗子市	1			5			3			20	1	30
合計	1			5			4			20	1	31

救 助 関 係

救助概況

平成22年中

種別 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
	建物	建物以外												
出場件数	9		6	1				9					6	31
活動件数	5		3					6					4	18
救助人員			3					6					5	14
出場延人員	132		55	9				76					58	330

救助出場人員・活動人員状況

平成22年中

種別 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
	建物	建物以外												
出場人員	救助隊員	75		37	6			52					43	213
	消防隊員	6												6
	救急隊員	24		18	3			24					15	84
	消防団員	27												
	合計	132		55	9			76					58	330
活動人員	救助隊員	36		23				30					31	120
	消防隊員	4												4
	救急隊員	15		9				18					9	51
	消防団員													
	合計	55		32				48					40	175

発生場所別救助人員状況

平成22年中

種別 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
	建物	建物以外												
屋内	住居							5						5
	その他の屋内													
屋外	道路	高速道路												
		その他の道路			2									2
	水面	内水面			1									1
		外水面												
	山岳													
その他の屋外								1				5	6	
地下														
その他														
合計			3					6					5	14

救助出場車両・活動車両状況

平成22年中

種別 区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他	合 計
		建 物	建 物 以 外											
出 場 車 両 等	救 助 工 作 車	1		6	1				6				4	18
	消 防 ポンプ自動車	12		5	1				9				7	34
	救 急 自 動 車	8		4	1				8				5	26
	そ の 他	16		7	1				7				7	38
	消 防 団 車 両													
	合 計	37		22	4				30				23	116
活 動 車 両 等	救 助 工 作 車			4					3				3	10
	消 防 ポンプ自動車	5		3					6				5	19
	救 急 自 動 車	5		3					6				2	16
	そ の 他	8		3					4				3	18
	消 防 団 車 両													
	合 計	18		13					19				13	63

発生場所別救助出場(活動)状況

平成22年中

種別 区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他	合 計
		建 物	建 物 以 外											
屋 内	住 居	7(4)							7(5)					14(9)
	そ の 他 の 屋 内	2(1)												2(1)
屋 外	道 路	高 速 道 路												
		そ の 他 の 道 路			5(2)									5(2)
	水 面	内 水 面			1(1)									1(1)
		外 水 面				1								1
	山 岳													
	そ の 他 の 屋 外								2(1)				5(4)	7(5)
地 下														
そ の 他													1	1
合 計		9(5)		6(3)	1				9(6)				6(4)	31(18)

() 内は活動件数を表す

時間別救助出場（活動）状況

平成22年中

区分	種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外												
0	～	2												1(1)	2(2)
2	～	4	1(1)							1					2(1)
4	～	6	1(1)							1(1)					2(2)
6	～	8								1(1)					1(1)
8	～	10								2(1)					2(1)
10	～	12	3(3)		1										4(3)
12	～	14	2							1(1)					6(2)
14	～	16								2(1)				3(2)	6(4)
16	～	18	1											1(1)	2(1)
18	～	20	1											1	3
20	～	22													1(1)
22	～	24													
合	計		9(5)		6(3)	1				9(6)				6(4)	31(18)

() 内は活動件数を表す

地区別救助出場状況

平成22年中

区分	種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外												
木	古	庭	2												2
上	山	口			3									1	4
下	山	口	1							1					2
一	色				1					3					4
堀	内		4							3				2	9
長	柄		2							2				3	10
町	外														
合	計		9		6	1				9				6	31

防 災 関 係

防災行政無線

防災行政無線は、災害の発生が予測される時や発生した時の対応など、町民に速く正確な情報を屋外拡声子局等により伝えるものです。

屋外拡声子局所在地

平成23. 3. 31現在

番号	放送塔設置場所	番号	放送塔設置場所
1	木古庭入 木古庭187番地	23	下山口神明社 下山口1504番地1
2	木古庭会館 木古庭605番地2	24	県立葉山公園 下山口1443番地1
3	大楠山登山口 木古庭1572番地3	25	しおさい公園 一色2123番地1
4	沢田児童遊園地 木古庭644番地11	26	図書館 堀内1881番地1
5	上山口大沢 上山口3204番地1	27	あじさい公園 堀内1537番地
6	葉山国際カンツリー倶楽部 上山口2108番地	28	芝崎児童館 一色2516番地
7	上山口小学校 上山口158番地	29	森戸神社 堀内1025番地1
8	上山口正吟 上山口2254番地	30	堀内会館 堀内510番地
9	上山口新沢 上山口798番地	31	港湾管理事務所 堀内50番地4
10	県水防倉庫 上山口1123番地4	32	木の下会館 堀内673番地2
11	水源池 下山口123番地	33	長柄小学校 長柄130番地
12	滝の坂 一色320番地9	34	長柄第6分団詰所 長柄27番地1
13	一色台団地公園 一色720番地50	35	長柄会館 長柄769番地1
14	下山口平 下山口608番地	36	汐見児童遊園地 長柄677番地32
15	下山口茅木山 下山口991番地1	37	葉桜児童館 長柄1413番地154
16	一色岡会館 一色473番地1	38	ケヤキ公園 長柄1601番地157
17	一色配水池 一色70番地5	39	イトーピア中央公園 長柄1642番地276
18	芝公園 一色1261番地2	40	長柄大山 長柄1070番地9
19	一色小学校 一色1060番地	41	役場庁舎 堀内2135番地
20	一色上原 一色1906番地7	42	湘南国際村センター 上山口1560番地39
21	葉山小学校 堀内2050番地		
22	旧役場 一色2155番地		

防災資機材備蓄一覧

平成23. 3. 31現在

品名	数量	品名	数量	品名	数量
2サイクルオイル(500ml)	18本	空気入れ	18本	ボール (小)	27本
4サイクルオイル(1000ml)	2本	組立水槽	2個	ボール (大)	20本
LPG用ガスホース	20本	軍手	357双	パイプ椅子	15脚
油吸着マット	1000枚	工具セット	20組	発動発電機	39台
荒縄	11本	コードリール	40個	発動発電機投光機付	4台
アルファ米(50食五目ご飯)	74箱	混合燃料 (25:1 450cc)	137本	発動発電機並列運転コード	1本
アルミ食器(5点セット)	369組	混合燃料 (25:1 缶詰10)	112本	バリケード	8個
遺体殺菌消毒消臭薬剤	100個	混合燃料 (50:1 缶詰10)	12本	番線カッター	3本
遺体収納袋	370枚	災害用医療資器材7点セット	2組	ハンドメガホン	16個
遺体用特殊加工シート	80枚	災害用医療資機材付属品	1組	万能オノ	11本
一輪車	29台	サバイバルフーズ(60食入り)	685箱	ハンマー (大17本・小5本)	22本
移動式炊飯器	8台	三角巾	1440枚	ひしゃく	8本
飲料水消毒用塩素剤	270本	消火器(ABC10型)	55本	ビニール袋	200枚
飲料水袋	2100枚	消火栓媒介	計20個	ピンボール	30本
飲料水ポンプ	2台	φ65町野♀xφ40ネジ♀	10個	フィルターカートリッジ(濾水機用)	108個
ウォーターバルーン(1t)	12個	φ65町野♀xφ40町野♂	10個	袋付き簡易担架	90枚
ウォーターバルーン(0.25t)	7個	消毒用アルコール(500ml)	15本	フューラー	24個
エンジンチェーンソー	19台	消防ホース(40mm)	50本	ブルーシート(10m×10m)	3枚
オイルジャッキ	10個	消防ホース(50mm)	3本	ブルーシート(3.6m×5.4m)	225枚
大箱回し	10本	消防ホース(65mm)	1本	ブルーシート(5.4m×7.2m)	2枚
汚水処理剤(パンクイック用)	39個	消防ポンプ(D-1)	10台	ヘルメット	10個
折りたたみ自転車	20台	真空パック布団セット	100組	防寒着	15着
折りたたみベット	10台	真空パック毛布	3550枚	防水シート	19枚
折りたたみリヤカー	33台	水槽鉤	42本	保温マット	760枚
ガーゼ(30cm×10m)	30枚	水中ポンプ	12台	哺乳瓶	216本
会議机	6脚	スコップ(角)	44本	哺乳瓶用替乳首	260本
懐中電灯(強力ライト)	66個	スコップ(剣)	125本	ポリタンク(飲料水用200)	635個
懐中電灯(壁掛式)	429個	スプーンセット	454組	ポリタンク(飲料水用100)	30個
懐中電灯(防水ライト)	30個	寸胴鍋	19個	ポリバケツ	99個
かけや	18本	生理用品	4780枚	ホワイトガソリン	96本
カセットコンロ	33台	造水機	2台	やかん	85個
カセットボンベ	162本	台車	1台	油圧ジャッキ	12台
ガソリン(缶詰10)	447本	タオル	50枚	ラジオ	1台
ガソリン携行缶(200)	10個	焚き付けセット(燻薪1.5k)	7個	ランタン	47個
鎌	5本	焚き付けセット(燻薪3k)	11個	両手鍋	66個
かまどセット	22台	軽量棚	2台	ロープ	55本
紙おむつ(大人用M)	1515枚	担架(二つ折り)	9台	ロールマット(1.2m×2m)	30枚
紙おむつ(子供用L)	2193枚	担架(四つ折り)	22台	ロールマット(1.4m×10m)	34枚
紙おむつ(子供用S)	1584枚	担架(布担架)	6台	濾水機	6台
カラーコーン	7個	鎮痛剤(15ml注射液)	90本	和式用便器セット	85組
カラーコーンバー	3個	筒先(φ40mm可変ノズル)	10本	番重(大)	20箱
カラーコーンベット	7個	つるはし	17本	番重(小)	20箱
刈払機	1台	ティッシュペーパー	1530箱	粉ミルク	135個
革手袋	92双	鉄筋カッター	3本	投光機用予備電球 EM3001用	2個
簡易コンロ(LPG用)	35台	テント(2k×3k)	25張	投光機用予備電球 EM4001用	1個
簡易トイレ(一般者用)	33台	トイレトペーパー	3386個	残留塩素測定器	6台
簡易トイレ(身障者用)	10台	投光機	38台	災害用飲料水500ml	2400本
簡易トイレ交換便槽	18個	三脚(投光機用)	12台	災害用飲料水350ml	2400本
乾電池(単1)	200本	灯油(缶詰10)	200本	ストーマ消化管用	240個
乾電池(単2)	98本	土嚢袋	8600枚	ストーマ尿路用	10個
乾電池(単3)	14本	トラロープ(50m)	10本	ヨウ素剤	14箱
吸管D-1消防ポンプ用	10台	トランシーバー	16台	冷蔵庫	1台
吸管飲料水ポンプ用	2本	トランジスターメガホン	4個	簡易間仕切り	99組
救急箱	45個	なた	20本	災害用ベッド	50組
給水栓架台	3台	煮炊きバーナー	1台	簡易間仕切りプライバシーウォール	6組
給水タンク	1個	寝袋	77個	簡易間仕切り更衣室	6組
救命胴衣	31着	のこぎり	46本	災害用飲料水300ml	1600本

飲料水兼用型耐震性貯水槽

平成23. 3. 31現在

名 称	設 置 場 所	構 造	容 量
飲料水兼用型 耐震性貯水槽	葉山町堀内2050番地1	鋼 板	100 m ³

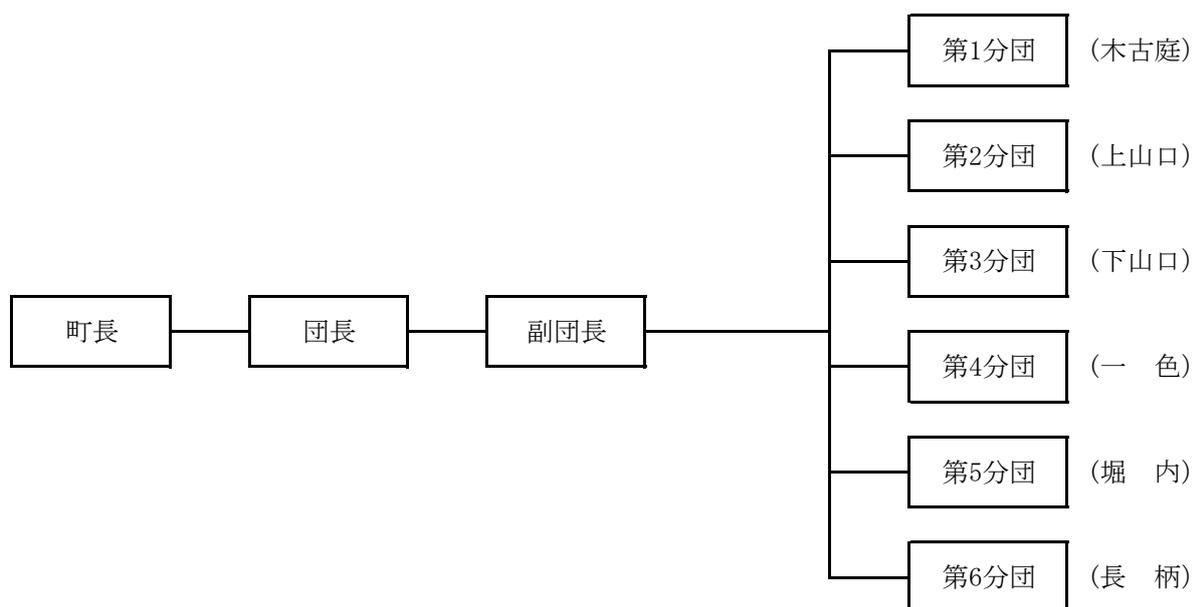
防災訓練・防災講演会実施状況

平成22年度

実 施 回 数	対 象 団 体 数	参 加 人 員	出 向 職 員 数
延 べ 35 回	延 べ 48 団 体	延 べ 1,053 名	延 べ 87 名

消 防 団 関 係

消 防 団 組 織 図



消 防 団 員 定 員 ・ 実 員

平成23. 4. 1現在

消 数 防 団	分 団 数	級階		団 長	副 団 長	分 団 長	副 長 分 団	部 長	班 長	団 員	合 計
		定員	実員								
1	6	定員		1	2	6	7	13	26	143	198
		実員		1	2	6	7	13	26	126	181

消 防 団 員 報 酬

平成23. 4. 1現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 長 分 団	部 長	班 長	団 員	技 術 員
年 額	92,000	72,000	56,000	47,000	38,000	33,000	32,000	23,000

消 防 団 員 出 動 費 用 弁 償

平成23. 4. 1現在

出 場	単 位	金 額	摘 要
災 害 出 場	1回	2,700	現場において業務に従事したものに支給する。
訓 練 出 場	1回	2,700	1日以上にわたるときは1日を単位とする。
警 戒 出 場	1回	2,700	同上

消防団詰所所在地

平成23. 4. 1現在

区分 分団	住 所	構 造	階 数	敷 地 面 積 (m^2)	延 面 積 (m^2)	完 成 年 月 日
第 1 分 団	木古庭 606 番地 1 606 番地 3	鉄骨造	2	217.17	177.49	平成2年11月1日
第 2 分 団	2404 番地 1 上山口 2405 番地 3 2408 番地 5	鉄骨造	2	247.02	117.75	平成11年3月26日
第 3 分 団 (複合施設用 途)	下山口 1705 番地 1	鉄骨造	1	655.14	85.05	平成9年11月28日
第 4 分 団	一色 1503 番地 3	鉄骨造	2	314.94	117.75	平成13年3月16日
第 5 分 団	堀内 774 番地 1	鉄骨造	2	312.25	113.96	平成15年3月17日
第 6 分 団	長柄 27 番地 1	鉄骨造	1	107.04	93.61	昭和61年12月17日

消防団員配置

平成23. 4. 1現在

階級 分団	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
本 部	1	2						3
第 1 分 団			1	1	2	4	20	28
第 2 分 団			1	1	2	4	19	27
第 3 分 団			1	1	2	4	18	26
第 4 分 団			1	1	2	4	17	25
第 5 分 団			1	2	3	6	31	43
第 6 分 団			1	1	2	4	21	29
合 計	1	2	6	7	13	26	126	181

消 防 団 員 年 齢

平成23. 4. 1現在

階 級 年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 ~ 24							19	19
25 ~ 29						1	18	19
30 ~ 34					1	5	29	35
35 ~ 39			4	4	5	12	24	49
40 ~ 44					4	5	18	27
45 ~ 49			2	3	2	1	13	21
50 ~ 54					1	2	4	7
55 ~ 59		1						1
60 ~ 64	1							1
65 歳 以 上		1					1	2
合 計	1	2	6	7	13	26	126	181
平 均 年 齢	62.0	61.0	41.3	41.4	40.6	37.7	33.8	

消 防 団 員 職 業

平成23. 4. 1現在

職 種	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 熱 供 給 ・ 水 道 業	運 輸 通 信 業	卸 売 小 売 飲 食 店
人数	5		1		34	25	6	8	33
職 種	金 融 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	日 本 郵 政 グ ル ー プ	公 務 員	員 特 に 順 法 人 等 公 務 員 務	分 類 不 能 の 産 業	そ の 他	
人数	1	1	34	1	4	2		26	

消防団員勤続年数

平成23. 4. 1現在

年 数	分 団							合 計
	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	
5 年 未 満		7	11	8	10	13	15	64
5 年 以 上 10 年 未 満		4	9	8	10	14	5	50
10 年 以 上 15 年 未 満		4	5	4	4	9	6	32
15 年 以 上 20 年 未 満	1	8	2	6	1	4	1	23
20 年 以 上 25 年 未 満		4				1	2	7
25 年 以 上 30 年 未 満	1	1				2		4
30 年 以 上	1							1
合 計	3	28	27	26	25	43	29	181

消防団出場状況

平成22年度

出 場	分 団	本 部	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
火災	回 数	11	4	4	2	3	6	3	33
	人 員	31	62	58	25	37	61	40	314
訓練	回 数	2	10	3	3	4	5	3	30
	人 員	6	68	23	25	28	33	23	206
警戒	回 数	4	8	7	8	8	8	8	51
	人 員	12	96	72	63	82	100	87	512
風水害	回 数	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 員	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	回 数	3	6	5	6	6	6	6	38
	人 員	9	68	61	62	72	84	74	430
合 計	延 回 数	20	28	19	19	21	25	20	152
	延 人 員	58	294	214	175	219	278	224	1462

消防団現有車両機械

平成23.4.1現在

区分 分団	配置車両	車両 会社名	年式	購入 年月日	原 動 機 ポ ン プ				
					エンジン 社 名	気筒容積 (CC)	ポ ン プ 社 名	ポ ン プ 型 式	ポ ン プ 級 別
第1分団	消防ポンプ 自動車	日野	17	平成17年 3月11日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型 動力ポンプ		10	平成10年 7月28日	富 士 ロビン	175	富 士 ロビン	P381(S)	C-1
第2分団	消防ポンプ 自動車	日野	17	平成17年 10月21日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付積載車	ダイハツ	3	平成3年 8月2日	ダイハツ	650			
	小型 動力ポンプ		8	平成8年 7月10日	富 士 ロビン	175	富 士 ロビン	P380	C-1
第3分団	消防ポンプ 自動車	日野	20	平成20年 10月17日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型 動力ポンプ		62	昭和62年 7月6日	富 士 ロビン	175	富 士 ロビン	P303	C-1
第4分団	消防ポンプ 自動車	三菱	15	平成15年 11月18日	三 菱	5,240	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付積載車	スバル	20	平成20年 10月31日	スバル	650			
	小型 動力ポンプ		1	平成元年 7月7日	ト一ハツ	198	ト一ハツ	V20BS	C-1
第5分団	消防ポンプ 自動車	日野	21	平成22年 3月30日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付積載車	ダイハツ	22	平成22年 12月20日	ダイハツ	650			
	小型 動力ポンプ		8	平成8年 7月10日	富 士 ロビン	198	富 士 ロビン	P380	C-1
第6分団	消防ポンプ 自動車	日野	21	平成21年 10月28日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
	小型 動力ポンプ		63	昭和63年 6月9日	富 士 ロビン	175	富 士 ロビン	P303	C-1

消防団備品配置

平成23.4.1現在

備品	合計	本部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団
消防ポンプ自動車	6		1	1	1	1	1	1
小型動力ポンプ	6		1	1	1	1	1	1
小型動力ポンプ付積載車	3			1		1	1	
防火衣	189		28	32	24	30	45	30
防火帽	186		31	35	33	30	30	27
ヘルメット	208		36	34	30	30	51	27
ホース (50 mm)	285		48	56	48	47	42	44
発動発電機	8		1	1	1	2	1	2
投光機	13		2	2	2	2	2	3
エアフォーム原液	17		3	3	3	3	3	2
エンジンカッター	6		1	1	1	1	1	1

平成23年版消防年報

編集・発行 葉山町消防本部

〒240-0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地の10

TEL 046(876)0119 FAX 046(876)1263